

基本計画書

基本計画									
事項	記入欄						備考		
計画の区分	医学部の収容定員変更								
フリガナ設置者	コリツダガクカクシヨウ カクサクガク								
フリガナ大学の名称	カクサクガク 長崎大学 [Nagasaki University]								
大学本部の位置	長崎県長崎市文教町1番14号								
大学の目的	長崎大学は、国立大学法人長崎大学基本規則第3条によって「長崎に根づく伝統的文化を継承しつつ、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造することによって、社会の調和的発展に貢献するとの理念に基づき、教育研究の高度化及び個性化を図り、アジアを含む地域社会とともに歩みつつ、世界にとって不可欠な知の情報発信拠点であり続けるとともに、地域及び国際社会の発展に貢献できる人材を養成する。」ことを目的として設置されている。								
新設学部等の目的	<p>医学部は、大学教育における基本的教養と専門の基盤となる幅広い知識を修得させるとともに、主体性と豊かな人格を備え、人々の健康、医療及び福祉に貢献できる資質の高い医療従事者、教育者及び研究者を育成することを目的とする。</p> <p>医学科は、医学に関する高度の専門的知識と基本的な医療技術を修得させ、自立性と社会性を身につけた医師及び教育者並びに科学的創造性を持った医学研究者を育成することを目的とする。</p> <p>また、医学科は、平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」や9月29日に公表された厚生労働省の「病院等における必要医師数実態調査」の結果等を踏まえた地域の医師確保等対策に基づき、地域医療を担う医師を養成し、長崎県内における医師確保のために貢献することを目的として、平成23年度から入学定員を1名増員する。</p>								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	【学部】	年	人	年次人	人		年月第年次		
	教育学部 学校教育教員養成課程 情報文化教育課程	4 4	240 0	— —	960 0	学士(教育学) "	平成10年4月 第1年次 "	長崎市文教町1番14号 "	教育学部情報文化教育課程は、平成20年度より学生募集停止。
	経済学部 総合経済学科 昼間主コース 夜間主コース	4	355 60	3年次 10 5	1,440 250	学士(経済学)	平成10年4月 第1年次	長崎市片瀬4丁目2番1号	
	医学部 医学科	6	116 (115)	2年次 5 (5)	721 (715)	学士(医学)	平成23年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号	医学科の入学定員のうち、5名は「緊急医師確保対策」に基づく平成29年度までの臨時増、15名は「経済財政改革の基本方針2009」に基づく平成31年度までの臨時増。今回の1名増員は、「新成長戦略」等に基づく平成31年度までの臨時増。
	保健学科	4	106	3年次 14	452	学士(看護学) 学士(保健学)	平成14年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目7番1号	
	歯学部 歯学科	6	50 (50)	3年次 0 (5)	300 (320)	学士(歯学)	平成23年4月 第3年次	長崎市坂本1丁目7番1号	「経済財政改革の基本方針2009」に基づく医学部医学科の入学定員増に伴う定員減(平成21年11月意見伺い書類提出済み/同年12月変更「可」/平成23年度概算要求中)
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	— —	240 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	平成18年4月 第1年次 昭和61年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号 "		

新設学部等の概要	(5年一貫制博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	平成22年5月 事前 伺い書類提出済み
	水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻	2	35	—	70	修士(水産学), 修士(学術)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	環境共生政策学専攻	2	8	—	16	修士(環境科学) 修士(学術)	〃	〃	
	環境保全設計学専攻	2	17	—	34	〃	〃	〃	
	(博士後期課程) 環境海洋資源学専攻	3	12	—	36	博士(水産学), 博士(環境科学), 博士(学術)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	(5年一貫制博士課程) 海洋フイールド生命科学専攻	5	5	—	25	博士(水産学), 博士(環境科学), 博士(学術)	平成23年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	医歯薬学総合研究科 (修士課程) 熱帯医学専攻	1	12	—	12	修士(熱帯医学)	平成18年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号	医歯薬学総合研究 科生命科学専攻 (博士前期課程) は、平成22年度より 学生募集停止。
	保健学専攻	2	12	—	24	修士(看護学), 修士(理学療法学), 修士(作業療法学)	〃	長崎市坂本1丁目7番1号	
	生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	平成22年4月 第1年次	長崎市文教町1番14号	
	(博士課程) 医療科学専攻	4	62	—	293	博士(学術), 博士(医学), 博士(歯学)	平成14年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号	
	新興感染症病態制御 学系専攻	4	20	—	92	博士(学術), 博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学)	〃	〃	
	放射線医療科学専攻	4	8	—	41	〃	〃	〃	
	(博士前期課程) 生命薬科学専攻	2	0	—	0	修士(薬学), 修士(臨床薬学)	〃	長崎市文教町1番14号	
(博士後期課程) 生命薬科学専攻	3	18	—	54	博士(学術), 博士(薬学), 博士(臨床薬学)	〃	長崎市文教町1番14号		
国際健康開発研究科 (修士課程) 国際健康開発専攻	2	10	—	20	修士(公衆衛生学)	平成20年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号		
医学研究科 (博士課程) 病理系専攻	4	0	—	0	博士(医学)	昭和30年4月 第1年次	長崎市坂本1丁目12番4号	医学研究科につい ては、平成14年度 より学生募集停 止。	
内科系専攻	4	0	—	0	〃	〃	〃		
外科系専攻	4	0	—	0	〃	〃	〃		
新興感染症病態制御学系専攻	4	0	—	0	〃	平成12年4月 第1年次	〃		
計		2,163 (2,162)	39 (44)	8,422 (8,436)					

同一設置者内における
変更状況
(定員の移行、名称の
変更等)

1. 入学定員の変更予定
 歯学部歯学科 平成23年4月より3年次編入学定員の減 5→0 (△5)
 ※「経済財政改革の基本方針2009」に基づく医学部医学科の入学定員増に伴う定員減。
 (平成21年11月 意見伺い書類提出済み/同年12月 変更「可」/平成23年度概算要求中)

2. 教学組織の改組予定 (平成22年7月 事前伺い書類提出済み)

- (1) 工学部の改組

7学科制から1学科6コース制へ移行

<現行>

機械システム工学科	80
電気電子工学科	80
情報システム工学科	50
構造工学科	40
社会開発工学科	50
材料工学科	50
応用化学科	50
各学科共通(編入学定員)	10
合計	410

<平成23年4月>

工学科	380
機械工学コース	/
電気電子工学コース	
情報工学コース	
構造工学コース	
社会環境デザイン工学コース	
化学・物質工学コース	

※編入学無し

- (2) 工学研究科及び水産・環境科学総合研究科の設置

大学院生産科学研究科を廃止し、新たに工学研究科及び水産・環境科学総合研究科を設置

<現行>

<平成23年4月>

生産科学研究科

博士前期課程	
機械システム工学専攻	30
電気情報工学専攻	52
環境システム工学専攻	36
物質工学専攻	38
水産学専攻	37
環境保全設計学専攻	17
環境共生政策学専攻	8
博士後期課程	
システム科学専攻	11
海洋生産科学専攻	15
物質科学専攻	14
環境科学専攻	8
合計	266

工学研究科

博士前期課程	
総合工学専攻	200
博士後期課程	
生産システム工学専攻	10
5年一貫制博士課程	
グリーンシステム創成科学専攻	5
合計	215

水産・環境科学総合研究科

博士前期課程	
水産学専攻	35
環境保全設計学専攻	17
環境共生政策学専攻	8
博士前期課程	
環境海洋資源学専攻	12
5年一貫制博士課程	
海洋フィールド生命科学専攻	5
合計	77

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
		講義	演習	実験・実習	計	— 単位				
—		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計		助手	
	新設分	【学部】 教育学部 学校教育教員養成課程		46 (46)	31 (31)	1 (1)	0 (0)	78 (78)	0人 (0)	39 (39)
		経済学部総合経済学科		30 (30)	24 (24)	3 (3)	0 (0)	57 (57)	0人 (0)	9 (9)
		医学部 医学科		39 (39)	34 (34)	14 (14)	63 (63)	150 (150)	0人 (0)	169 (169)
		保健学科		22 (22)	10 (10)	5 (5)	15 (15)	52 (52)	0人 (0)	4 (4)
歯学部歯学科		18 (18)	17 (17)	1 (1)	55 (55)	91 (91)	0人 (0)	74 (74)		

教員組織の概要	新設分	薬学部 薬学科	10 (10)	11 (11)	1 (1)	9 (9)	31 (31)	0人 (0)	} 4 (4)	平成22年7月 事前 伺い書類提出済み	
		薬科学科	4 (4)	4 (4)	0 (0)	3 (3)	11 (11)	0人 (0)			
		工学部工学科	41 (41)	39 (39)	0 (0)	33 (33)	113 (113)	1 (1)	19 (19)		
		環境科学部環境科学科	24 (24)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	43 (43)	0人 (0)	18 (18)		
		水産学部水産学科	21 (21)	17 (17)	1 (1)	4 (4)	43 (43)	0人 (0)	18 (18)		
		【 研 究 科 】									
		教育学研究科 教科実践専攻（修士課程）	27 (27)	18 (18)	1 (1)	0 (0)	46 (46)	0 (0)	12 (12)		
		教職実践専攻（専門職学位課程）	7 (7)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	3 (3)		
		経済学研究科 経済経営政策専攻（博士前期課程）	30 (30)	22 (22)	0 (0)	0 (0)	52 (52)	0 (0)	1 (1)		
		経営意思決定専攻（博士後期課程）	17 (17)	9 (9)	0 (0)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	0 (0)		
		工学研究科 総合工学専攻（博士前期課程）	31 (31)	35 (35)	0 (0)	30 (30)	96 (96)	0 (0)	22 (22)		} 平成22年5月 事前伺い書類 提出済み
		生産システム工学専攻（博士前期課程）	31 (31)	34 (34)	0 (0)	0 (0)	65 (65)	0 (0)	15 (15)		
		グリーンシステム創成科学専攻（5年一貫制博士課程）	9 (9)	5 (5)	0 (0)	3 (3)	17 (17)	0 (0)	2 (2)		
		水産・環境科学総合研究科 水産学専攻（博士前期課程）	17 (17)	12 (12)	1 (1)	2 (2)	32 (32)	0 (0)	0 (0)		} 平成22年5月 事前伺い書類 提出済み
		環境共生政策学専攻（博士前期課程）	13 (13)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	32 (32)		
		環境保全設計学専攻（博士前期課程）	10 (10)	6 (6)	0 (0)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	20 (20)		
		環境海洋資源学専攻（博士後期課程）	37 (37)	23 (23)	0 (0)	2 (2)	62 (62)	0 (0)	0 (0)		
		海洋フィールド生命科学専攻（5年一貫制博士課程）	9 (9)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	4 (4)		
		医歯薬学総合研究科 熱帯医学専攻（修士課程）	7 (7)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	21 (21)		
		保健学専攻（修士課程）	22 (22)	7 (7)	2 (2)	2 (2)	33 (33)	0 (0)	1 (1)		
医療科学専攻（博士課程）	58 (58)	47 (47)	12 (12)	29 (29)	146 (146)	0 (0)	14 (14)				

教員組織の概要	新設分	新興感染症病態制御学系専攻(博士課程)	22 (22)	11 (11)	4 (4)	10 (10)	47 (47)	0 (0)	3 (3)
		放射線医療科学専攻(博士課程)	8 (8)	5 (5)	0 (0)	5 (5)	18 (18)	0 (0)	1 (1)
		生命薬科学専攻(修士課程)	13 (13)	15 (15)	0 (0)	7 (7)	35 (35)	0 (0)	0 (0)
		生命薬科学専攻(博士後期課程)	13 (13)	16 (16)	0 (0)	6 (6)	35 (35)	0 (0)	0 (0)
		国際健康開発研究科 国際健康開発専攻(修士課程)	12 (12)	5 (5)	0 (0)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	5 (5)
	計	286 (286)	228 (228)	28 (28)	218 (218)	760 (760)	1 (1)	510 (510)	
	既設分	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
			— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
		計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合計	286 (286)	228 (228)	28 (28)	218 (218)	760 (760)	1 (1)	510 (510)	
教員以外の職員の概要	職 種	専 任	兼 任	計					
	事務職員	420人 (420)	394人 (394)	814人 (814)					
	技術職員	102 (102)	139 (139)	241 (241)					
	図書館専門職員	19 (19)	0 (0)	19 (19)					
	その他の職員	974 (974)	619 (619)	1,593 (1,593)					
	計	1,515 (1,515)	1,152 (1,152)	2,667 (2,667)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	283,414 m ²	0 m ²	0 m ²	283,414 m ²				
	運動場用地	112,621 m ²	0 m ²	0 m ²	112,621 m ²				
	小 計	396,035 m ²	0 m ²	0 m ²	396,035 m ²				
	そ の 他	263,612 m ²	0 m ²	0 m ²	263,612 m ²				
	合 計	659,647 m ²	0 m ²	0 m ²	659,647 m ²				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	385,257 m ² (385,257 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	385,257 m ² (385,257 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	102 室	153 室	663 室	15 室 (補助職員 0人)	3 室 (補助職員 0人)				
専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		大学全体			
	大学全体			699 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	969,937 [294,036] (969,937 [294,036])	36,832 [17,898] (36,832 [17,898])	11,149 [10,127] (11,149 [10,127])	4,218 (4,218)	11,755 (11,755)	80 (80)		
	計	969,937 [294,036] (969,937 [294,036])	36,832 [17,898] (36,832 [17,898])	11,149 [10,127] (11,149 [10,127])	4,128 (4,218)	11,755 (11,755)	80 (80)		

図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
		10,153 m ²		1,084		841,861			
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		12,641 m ²		運動場, 弓道場, テニスコート, ハンドボールコート, プール等					
経費の 見及び 維持の 概要	経費の 見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		教員1人当り研究費等							
		共同研究費等							
		図書購入費							
	設備購入費								
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要									
大学の名称		長崎大学							
学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	既設大学等の状況
【学部】	年	人	年次人	人		倍			
教育学部 学校教育教員養成課程 情報文化教育課程	4 4	240 -	- -	840 -	学士(教育学) "	1.03 -	平成10年度 "	長崎市文教町1番14号 "	
経済学部 総合経済学科 昼間コース 夜間主コース	4 4	355 60	3年次 10 5	1,440 250	学士(経済学) "	1.03 1.02	平成10年度 "	長崎市片淵4丁目2番1号 "	
医学部 医学科 保健学科	6 4	100 106	2年次 5 3年次 14	600 452	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健学)	1.00 1.00	昭和24年度 平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号 長崎市坂本1丁目7番1号	
歯学部 歯学科	6	50	3年次 5	320	学士(歯学)	1.00	昭和55年度	長崎市坂本1丁目7番1号	
薬学部 薬学科 薬科学科	6 4	40 40	- -	160 160	学士(薬学) 学士(薬科学)	1.02 1.06	平成18年度 昭和61年度	長崎市文教町1番14号 "	
工学部 機械システム工学科 電気電子工学科 情報システム工学科 構造工学科 社会開発工学科 材料工学科 応用化学科 各学科共通	4 4 4 4 4 4 4	80 80 50 40 50 50 50	- - - - - - 3年次 10	320 320 200 160 200 200 200	学士(工学) " " " " " "	1.02 1.07 1.07 1.04 1.05	平成2年度 平成10年度 " 昭和42年度 平成3年度 昭和45年度 平成3年度	長崎市文教町1番14号 " " " " " " "	
環境科学部 環境科学科	4	140	3年次 10	580	学士(環境科学)	1.01	平成10年度	長崎市文教町1番14号	
水産学部 水産学科	4	110	-	440	学士(水産学)	1.03	昭和48年度	長崎市文教町1番14号	

既設 大学等 の 状 況	【 研究科 】											
	教育学研究科 (修士課程) 教科実践専攻	2	18	—	36	修士(教育学)	0.94	平成20年度	長崎市文教町1番14号			
	(専門職学位課程) 教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士(専門職)	1.00	平成20年度	長崎市文教町1番14号			
	経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻	2	15	—	30	修士(経済学), 修士(経営学)	1.03	平成16年度	長崎市片淵4丁目2番1号			
	(博士後期課程) 経営意思決定専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	0.88	平成16年度	長崎市片淵4丁目2番1号			
	生産科学研究科 (博士前期課程) 機械システム工学専攻	2	30	—	60	修士(学術), 修士(工学), 修士(水産学)	1.21	平成12年度	長崎市文教町1番14号			
	電気情報工学専攻	2	52	—	104	〃	1.24	平成12年度	〃			
	環境システム工学専攻	2	36	—	72	〃	0.90	平成12年度	〃			
	物質工学専攻	2	38	—	76	〃	1.18	平成12年度	〃			
	水産学専攻	2	37	—	74	〃	1.17	平成12年度	〃			
	環境共生政策学専攻	2	8	—	16	修士(環境科学)	1.06	平成16年度	〃			
	環境保全設計学専攻	2	17	—	34	〃	0.82	平成16年度	〃			
	(博士後期課程) システム科学専攻	3	11	—	33	博士(学術), 博士(工学), 博士(水産学), 博士(環境科学)	1.08	平成12年度	長崎市文教町1番14号			
	海洋生産科学専攻	3	15	—	45	〃	0.57	平成13年度	〃			
	物質科学専攻	3	14	—	42	〃	0.14	平成13年度	〃			
	環境科学専攻	3	8	—	24	〃	1.20	平成16年度	〃			
	医歯薬学総合研究科 (修士課程) 熱帯医学専攻	1	12	—	12	修士(熱帯医学)	0.91	平成18年度	長崎市坂本1丁目12番4号			
	保健学専攻	2	12	—	24	修士(看護学), 修士(理学療法学), 修士(作業療法学)	1.04	平成18年度	長崎市坂本1丁目7番1号			
	生命薬科学専攻	2	36	—	72	修士(薬科学)	1.05	平成22年度	長崎市文教町1番14号			
	(博士課程) 医療科学専攻	4	62	—	293	博士(学術), 博士(医学), 博士(歯学)	0.79	平成14年度	長崎市坂本1丁目12番4号			
新興感染症病態制御 学系専攻	4	20	—	92	博士(学術), 博士(医学), 博士(歯学), 博士(薬学)	1.14	平成14年度	〃				
放射線医療科学専攻	4	8	—	41	〃	0.80	平成14年度	〃				
(博士前期課程) 生命薬科学専攻	2	—	—	—	修士(薬学), 修士(臨床薬学)	—	平成14年度	長崎市文教町1番14号		医歯薬学総合研究 科生命薬科学専攻 (博士前期課程) は、平成22年度より 学生募集停止。		
(博士後期課程) 生命薬科学専攻	3	18	—	59	博士(学術), 博士(薬学), 博士(臨床薬学)	0.68	平成14年度	長崎市文教町1番14号				

既設大学の状況	国際健康開発研究科 (修士課程) 国際健康開発専攻	2	10	—	20	修士(公衆衛生学)	1.10	平成20年度	長崎市坂本1丁目12番4号	
	医学研究科 (博士課程) 病理系専攻	4	—	—	—	博士(医学)	—	昭和30年度	長崎市坂本1丁目12番4号	医学研究科については、平成14年度より学生募集停止。
	社会医学系専攻	4	—	—	—	〃	—	—	〃	
	内科系専攻	4	—	—	—	〃	—	—	〃	
	外科系専攻	4	—	—	—	〃	—	—	〃	
新興感染症病態制御学系専攻	4	—	—	—	〃	—	平成12年度	〃		
附属施設の概要	(附置研究所) ○熱帯医学研究所 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：昭和24年5月(昭和42年6月 風土病研究所から改称) 規模等：土地 91,230㎡ 建物 9,751㎡ 目的：熱帯医学に関する学理及びその応用を研究する。									
	(附属学校) 目的： (1)教育基本法及び学校教育法に定める教育又は保育を行う。 (2)教育学部における児童若しくは生徒の教育又は幼児の保育に関する研究に協力し、教育学部の計画に従い、学生の教育実習の実施にあたる。 (3)教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行う。 ○教育学部附属幼稚園 所在地：長崎市長教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地 51,185㎡ 建物 1,190㎡ ○教育学部附属小学校 所在地：長崎市長教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地(上記に含む) 建物 7,510㎡ ○教育学部附属中学校 所在地：長崎市長教町4番23号 設置年月：昭和24年5月 規模等：土地(上記に含む) 建物 7,813㎡ ○教育学部附属特別支援学校 所在地：長崎市柳谷町42番1号 設置年月：昭和46年4月 規模等：土地 12,529㎡ 建物 3,423㎡									
	(学部等の附属施設) ○教育学部附属教育実践総合センター 所在地：長崎市長教町1番14号 設置年月：平成13年4月(教育実践研究指導センターを改組) 規模等：土地 187,125㎡ 建物 531㎡ 目的：教育実践に関する研究、指導及び研修を総合的に行い、教師教育の充実を図る。									
	○水産学部附属練習船鶴洋丸 設置年月：昭和50年6月(現船：平成16年12月) 規模等：アルミニウム合金船 155トン 最大搭載人員 36名 目的：航海・漁労実習、海洋環境観測、海洋生物資源調査									
	○水産学部附属練習船長崎丸 設置年月：昭和27年3月(現船：昭和61年2月) 規模等：鋼船 842トン 最大搭載人員 69名 目的：トロール漁業実習、海洋学実習、航海運用実習									
	○医歯薬学総合研究科附属原爆後障害医療研究施設 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：昭和37年4月(平成15年4月 医学部附属施設から医歯薬学総合研究科附属施設へ移行) 規模等：土地 91,230㎡ 建物 1,300㎡ 目的：原爆被爆、放射線被曝事故等による放射線障害の疾病について、放射線障害の解析と発症機構の解明並びに分子診断法及び遺伝子治療法の開発を行うとともに、国際的な放射線被曝影響の実態調査、放射線被曝者の資料の収集及びデータベースの構築を行う。									

附属施設の概要	<p>○医歯薬学総合研究科附属薬用植物園 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和47年5月（平成15年4月 医学部附属施設から医歯薬学総合研究科附属施設へ移行） 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 453㎡ 目的：園内に薬用植物を栽培し、もって学術研究及び教育に資する。</p>
	<p>○熱帯医学研究所附属アジア・アフリカ感染症研究施設 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地 91, 230㎡ 建物 9, 751㎡ 目的：アジアやアフリカにおける熱帯病・新興再興感染症の発生・拡大に関与する現地長期調査及び複合要因の解析並びに予防制圧に資する研究及び教育を行うことにより、当該分野の学術研究の進展及び人材育成に寄与する。</p>
	<p>○熱帯医学研究所附属熱帯性病原体感染動物実験施設 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：昭和54年4月 規模等：土地 91, 230㎡ 建物 488㎡ 目的：熱帯性病原体による感染に関する研究に必要な動物実験を行うことにより、学術研究の進展に寄与する。</p>
	<p>○熱帯医学研究所附属熱帯医学ミュージアム 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成20年4月（熱帯感染症研究センターを改組） 規模等：土地 91, 230㎡ 建物 9, 751㎡ 目的：熱帯医学に関する資料・情報を収集、整理、保存、解析及び提供するとともに、公衆への供覧等を行うことにより、熱帯医学に対する社会の理解を深め、学術研究の進展に寄与する。</p>
	<p>（附属病院） ○長崎大学病院 所在地：長崎市坂本1丁目7番1号 設置年月：昭和24年5月（平成21年4月 医学部・歯学部附属病院を改組） 規模等：土地 86, 807㎡ 建物 143, 620㎡ 目的：患者の診療を通じて医歯薬学関連の教育及び研究を行う。</p>
	<p>（学内共同教育研究施設等） ○保健・医療推進センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：昭和41年4月（平成20年4月 保健管理センターを改組） 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 528㎡ 目的：長崎大学の学生及び職員の健康を守り、予防に努めるとともに、保健・医療分野での医療教育、本学の地域連携及び地域貢献を県及び自治体と連携し、推進する。</p>
	<p>○先導生命科学研究支援センター 所在地：長崎市坂本1丁目12番4号 設置年月：平成15年4月（アイソトープ総合センター、遺伝子実験施設及び医学部附属動物実験施設を統合再編） 規模等：土地 91, 230㎡ 建物 8, 627㎡ 目的：放射性同位元素等、動物資源及びゲノム情報・遺伝子を用いる教育研究にその施設等を供するとともに、本学における総合的な生命科学研究の推進及び支援を行い、もって教育研究の進展に資する。</p>
	<p>○情報メディア基盤センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成16年12月（総合情報処理センターを改組） 研究科附属施設へ移行） 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 1, 192㎡ 目的：センターの計算機システムを整備運用し、本学における教育、研究及び事務処理のための共同利用に供するとともに、情報化の推進のための技術支援及び研究開発を行い、本学の高度情報化に資する。</p>
	<p>○共同研究交流センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成16年12月（地域共同研究センター、機器分析センター及び環境保全センターを統合再編） 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 2, 711㎡ 目的：民間等外部の機関との共同研究等の推進、学内外における先端研究及び研究交流の支援並びに学内における環境保全への取組の推進により、地域社会における技術開発及び技術教育の振興に資するとともに、本学における教育研究活動の活性化を図る。</p>
	<p>○生涯学習教育研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成5年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 229㎡ 目的：生涯学習に関する教育及び研究を行い、大学開放の推進を図ることにより、生涯学習の振興に資する。</p>

附属施設の概要	<p>○留学生センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成8年5月（外国人留学生指導センターを改組） 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 247㎡ 目的：外国人留学生及び学部、大学院等への入学前における日本語等に関する予備教育を受ける者並びに外国の大学等に留学を希望する学生に対し、必要な教育及び指導助言を行うことにより、本学における留学生交流の推進を図る。</p>
	<p>○大学教育機能開発センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成14年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 659㎡ 目的：全学教育、教育改善及び大学教育全般の在り方に関する研究を行うとともに、本学の全学教育及び教育改善の実施に関する企画運営を行う。</p>
	<p>○アドミッションセンター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成14年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 174㎡ 目的：アドミッションポリシーに沿った入学者選抜を行うための調査及び研究を行うとともに、本学の入学者選抜に関する諸課題に対応し各部署における入学者選抜への助言及び支援を行う。</p>
	<p>○環東シナ海海洋環境資源研究センター 所在地：長崎市多良町1551番7号 設置年月：平成17年4月 規模等：土地 10,900㎡ 建物 1,490㎡ 目的：東シナ海域及びその周辺海域の環境と生物資源を対象とする総合的な研究を推進するとともに、海洋環境の保全及び海洋生物資源の育成に関する教育を行い、もって本学における海洋科学の教育研究の進展に資する。</p>
	<p>○先端計算研究センター 所在地：長崎市文教町1番14号 設置年月：平成22年4月 規模等：土地 187, 125㎡ 建物 405㎡ 目的：次世代並列コンピュータに関する研究開発及び教育を推進し、次世代並列コンピュータを利用した新たな産業創出に資する。</p>

(注)

- 1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 3 私立の大学又は高等専門学校の出発定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 6 空欄には、「—」又は「該当なし」と記入すること。

位置関係の図面



*医学部は⑥

- ① 臨海研修所
- ② 環東シナ海洋環境資源研究センター
- ③ 教育学部附属特別支援学校，国際交流会館
- ④ 教育学部附属小学校，附属中学校，附属幼稚園
- ⑤ 知的財産本部，事務局，教育学部，附属教育実践総合センター，薬学部，工学部，環境科学部，水産学部，附属図書館（中央図書館），生産科学研究科，医歯薬学総合研究科（薬学系），附属薬用植物園，保健・医療推進センター，情報メディア基盤センター，共同研究交流センター，生涯学習教育研究センター，留学生センター，大学教育機能開発センター，アドミッションセンター，先端計算研究センター，心の教育総合支援センター，やってみゅーでスク，男女共同参画推進センター
- ⑥ 医学部（医学科），熱帯医学研究所，附属熱帯性病原体感染動物実験施設，附属熱帯感染症研究センター，医歯薬学総合研究科（医学系），附属原爆後障害医療研究施設，先端生命科学支援センター，附属図書館（医学分館），国際連携研究戦略本部，国際健康開発研究科
- ⑦ 大学病院，歯学部，医歯薬学総合研究科（歯学系・保健学系），医学部（保健学科）
- ⑧ 経済学部，附属図書館（経済学部分館）
- ⑨ 野母崎研究施設
- ⑩ 九州地区国立大学島原共同研修センター

最寄り駅からの図面・キャンパス間の移動関係



■ 坂本キャンパス

● JR 長崎駅から

路面電車

「長崎駅前」→(赤迫行き)→「浜口町」下車→徒歩

長崎バス

「長崎駅前」→(8番系統下大橋行き(医学部経由))→「医学部前」下車

● JR 浦上駅から

路面電車

「浦上駅前」→(赤迫行き)→「浜口町」下車→徒歩

● 長崎空港から

県営バス

「長崎空港4番のりば」→(昭和町・浦上経由長崎方面行き)→「浦上駅前」下車→(「JR 浦上駅から」へ)

■ 坂本キャンパス(医学部)と文教キャンパス(全学教育)間の移動関係

- 1) 距離 2 km, 移動時間 20 分, 交通手段は路面電車「浜口町」～「長崎大学前」
- 2) 全学教育は, 1 年次が水曜日・木曜日・金曜日, 2 年次が月曜日・火曜日に文教キャンパスで受講することにして, 専門教育との受講日を曜日で分け, 同じ日にキャンパス間の移動がないようにしている。

長崎大学学則の変更の事由及び変更点

変更の事由

医学部医学科の入学定員を見直すため、所要の改正を行うものである。

変更点

医学部医学科の入学定員及び収容定員に関する規定を整備すること。

○長崎大学学則（改正案）

平成16年4月1日
学 則 第 1 号

目次

- 第1章 総則(第1条—第3条)
- 第2章 修業年限, 在学期間, 学年, 学期及び休業日(第4条—第9条)
- 第3章 入学, 編入学, 転入学, 転学部, 休学, 復学, 留学, 退学, 転学, 再入学及び除籍(第10条—第28条)
- 第4章 教育課程の編成, 授業科目の区分等, 単位, 履修方法, 考査及び単位の授与(第29条—第44条)
- 第5章 卒業及び学位並びに教員の免許状授与の所要資格の取得(第45条—第48条)
- 第6章 賞罰(第49条・第50条)
- 第7章 検定料, 入学料, 授業料及び寄宿料(第51条—第60条)
- 第8章 科目等履修生, 研究生, 特別聴講学生, 特別の課程及び外国人留学生(第61条—第65条)
- 第9章 雑則(第66条・第67条)

附則

第1章 総則

(目的)

第1条 長崎大学(以下「本学」という。)は, 国立大学法人長崎大学基本規則(平成16年規則第1号)第3条に規定する理念に基づき, 実践教育を重視した最高水準の教育を提供し, 幅広い視野と豊かな教養及び深い専門知識を備え, 課題探求能力及び創造力に富んだ人材を養成し, もって地域及び国際社会に貢献することを目的とする。

2 本学の学部の修業年限, 教育課程, 教育研究組織その他の学生の修学上必要な事項については, この学則の定めるところによる。

(教育研究上の目的の公表等)

第1条の2 各学部は, 学部, 学科又は課程ごとに, 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を学部規程に定め, 公表するものとする。

(学部, 学科, 課程及び収容定員)

第2条 本学の学部に, 次の学科及び課程を置く。

学部	学科及び課程
教育学部	学校教育教員養成課程
経済学部	総合経済学科
医学部	医学科, 保健学科
歯学部	歯学科
薬学部	薬学科, 薬科学科
工学部	機械システム工学科, 電気電子工学科, 情報システム工学科, 構造工学科, 社会開発工学科, 材料工学科, 応用化学科
環境科学部	環境科学科
水産学部	水産学科

2 経済学部は昼夜開講制とし, 昼間に授業を行うコース(以下「昼間コース」という。)及び主として夜間に授業を行うコース(以下「夜間主コース」という。)を置く。

3 収容定員は, 別表第1のとおりとする。

(講座等)

第3条 前条第1項に掲げる学部又は学科に, 講座, 学科目等を置く。

2 前項の講座, 学科目等は, 別に定める。

第2章 修業年限、在学期間、学年、学期及び休業日

(修業年限)

第4条 学部の修業年限は、4年とする。ただし、医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科にあつては、6年とする。

(入学前に一定の単位を修得した者の修業年限の通算)

第5条 大学の学生以外の者が第61条に規定する科目等履修生として一定の単位(第11条に規定する入学資格を有した後、修得したものに限る。)を修得した後に本学に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、修得した単位数その他の事項を勘案して所属学部教授会が定める期間を修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、修業年限の2分の1を超えてはならない。

(在学期間)

第6条 本学における在学期間は、修業年限の2倍を超えることができない。

(学年)

第7条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

(学期)

第8条 学年を分けて、次の2期とする。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、学部の事情により、学長が変更することがある。

(休業日)

第9条 休業日は、次のとおりとする。

日曜日及び土曜日

国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日

開学記念日 5月31日

春季休業 3月21日から4月7日まで

夏季休業 8月11日から9月30日まで

冬季休業 12月25日から翌年1月7日まで

2 前項の規定にかかわらず、学部の事情により、学長が変更することがある。

3 学長は、必要があると認めるときは、臨時的休業日を定めることができる。

第3章 入学、編入学、転入学、転学部等、休学、復学、留学、退学、転学、再入学及び除籍

(入学の時期)

第10条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、後期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第11条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者

(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(6) 文部科学大臣の指定した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)による大学入学資格検定に合格した者を含む。)

- (8) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (9) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(入学志願の手続)

第12条 入学志願者は、所定の手続により、願い出なければならない。

(選抜試験)

第13条 入学志願者に対しては、長崎大学入学者選抜規則(平成16年規則第16号)の定めるところにより、選抜試験を行う。

(合格者の決定)

第14条 前条の選抜試験による合格者の決定は、各学部教授会の議を経て、学長が行う。

(編入学定員を有する学部への編入学)

第15条 経済学部、医学部保健学科、工学部又は環境科学部の第3年次に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、当該学部が別に定める出願資格を有する者とし、選抜試験を行った上、当該学部教授会の議を経て、学長が入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者
 - (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者
 - (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
 - (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (7) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(第11条に規定する入学資格を有する者に限る。)
- 2 医学部医学科の第2年次又は歯学部の第3年次に編入学することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とし、選抜試験を行った上、当該学部教授会の議を経て、学長が入学を許可する。
- (1) 大学を卒業した者
 - (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

(欠員のある場合の編入学及び転入学)

第16条 次の各号のいずれかに該当する者については、欠員のある場合に限り、選考の上、当該学部教授会の議を経て、学長が入学を許可することがある。

- (1) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者で、編入学を志望するもの
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者で、編入学を志望するもの
- (3) 教育学部若しくは学芸学部の2年課程を修了した者又は学校教育法施行規則(昭和22年文部

省令第11号)附則第7条に規定する従前の規定による学校の課程を修了し、若しくはこれらの学校を卒業した者で、編入学を志望するもの

- (4) 外国において学校教育における14年の課程を修了した者で、編入学を志望するもの
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者で、編入学を志望するもの
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、編入学を志望するもの
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(第11条に規定する入学資格を有する者に限る。)で、編入学を志望するもの
- (8) 他の大学に在学する者又は卒業し、若しくは退学した者で、転入学を志望するもの
- (9) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程に在学する者又は当該課程を修了し、若しくは退学した者で、転入学を志望するもの(第11条に規定する入学資格を有する者に限る。)

- 2 前項各号に掲げるもののほか、医学又は歯学の進学課程を修了した者又はこれと同等以上の学力があると認められる者の編入学については、医学部又は歯学部が別に定める。
(編入学又は転入学を許可された者の修業年限等)

第17条 前2条の規定により入学を許可された者の入学する前に履修した授業科目について修得した単位及び入学する前に行った第37条第1項に規定する学修の取扱い並びに在学すべき年数については、所属学部教授会が定める。

- 2 前項の規定により在学すべき年数を定められた者の在学期間は、第6条の規定にかかわらず、在学すべき年数の2倍を超えることができない。

- 3 第1項の規定により在学すべき年数を定められた者の休学期間は、第22条第2項の規定にかかわらず、在学すべき年数に相当する年数を超えることができない。

(入学手続)

第18条 選抜試験又は選考の結果に基づき、入学の合格通知を受けた者は、所定の期日までに次の手続をしなければならない。

- (1) 入学料を納付すること。
- (2) 誓約書及び保証書を提出すること。ただし、第64条に規定する外国人留学生については、誓約書のみを提出とする。

- 2 保証書の保証人は、原則として父母又はこれに準ずる者とし、学生と連帯して責任を負うものとする。保証人又は保証人の住所に変更があった場合は、速やかに届け出なければならない。

(入学許可)

第19条 学長は、前条の入学手続(第53条の規定により、入学料の免除又は徴収猶予の申請を行った者は、前条第1号の手続を除く。)を完了した者に入学を許可する。

- 2 学長は、入学を許可した者に対して、入学時に学生証を交付する。

(転学部等)

第20条 学生から転学部の願い出があったときは、関係学部教授会の議を経て、学長が許可することがある。

- 2 前項の規定により転学部を許可された者の修業年限等に関しては、第17条の規定を準用する。
- 3 前2項の規定は、学科及び課程を変更する場合について準用する。この場合において、第1項中「関係学部教授会」とあるのは「所属学部教授会」と読み替えるものとする。

(休学)

第21条 学生が疾病その他の理由により、引き続き2か月以上修学を中止しようとするときは、所属学部長を経て、学長に休学を願い出て、許可を受けなければならない。

(休学期間)

第22条 休学は、引き続き1年を超えることができない。ただし、特別の理由があるときは、更に1年以内の休学を許可することがある。

2 休学期間は、通算して4年(医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科にあっては6年)を超えることができない。

3 休学期間は、第6条及び第45条の期間に算入しない。

(復学)

第23条 休学期間が満了したとき又は休学期間中にその理由がなくなったときは、所属学部長を経て、学長に復学を願い出て、許可を受けなければならない。

(留学)

第24条 学生が外国の大学又は短期大学で学修することが、教育上有益であると各学部において認めるときは、あらかじめ、当該外国の大学又は短期大学と協議の上、学生が当該外国の大学又は短期大学に留学することを認めることがある。

2 留学の期間は、第6条及び第45条の期間に算入する。

(退学)

第25条 学生が退学しようとするときは、所属学部長を経て、学長に願い出て、許可を受けなければならない。

(転学)

第26条 学生が他の大学に転学しようとするときは、所属学部長を経て、学長に願い出て、受験の許可を受けなければならない。

(再入学)

第27条 第25条による退学者が、退学後2年以内に退学前に所属していた学部の学科又は課程に再入学を願い出た場合は、当該学部教授会の議を経て、学長が許可することがある。

2 前項の規定により入学を許可された者については、本学退学時までの在学期間、休学期間、留学期間及び停学期間は入学後の当該期間に通算するものとし、既に履修した授業科目について修得した単位の取扱いについては当該学部教授会が定めるものとする。

(除籍)

第28条 学生が次の各号の一に該当するときは、所属学部教授会の議を経て、学長がこれを除籍する。

(1) 正当の理由なくして欠席が長期にわたるとき。

(2) 成業の見込みがないと認めたとき。

(3) 在学期間が修業年限の2倍を超えたとき又は休学期間が第22条第2項の期間を超えたとき。

(4) 休学期間が満了しても復学の願い出をしないとき。

(5) 授業料を納めないとき。

(6) 第53条の規定により入学料の免除又は徴収猶予を申請した者で、次に掲げるものが納めるべき入学料を所定の期日までに納めないとき。

ア 免除又は徴収猶予が許可されなかったもの

イ 入学料の一部の免除が許可されたもの

ウ 徴収猶予が許可されたもの

第4章 教育課程の編成、授業科目の区分等、単位、履修方法、考査及び単位の授与

(教育課程の編成)

第29条 教育課程は、本学、学部及び学科又は課程の教育上の目的を達成するため、大学教育における基本的教養を会得させ併せて専門の幅広い基盤を理解させることを目的とした全学教育に関する授業科目(以下「全学教育科目」という。)及び学部等の専攻に係る専門教育に関する授業科目(以下「専門教育科目」という。)を有機的に組み合わせて、体系的に編成するものとする。

2 教育課程の編成に当たっては、学部等の専攻に係る専門の学芸を教授するとともに、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するよう適切に配慮するものとする。

(授業科目の区分)

第30条 全学教育科目の区分は、次のとおりとする。ただし、夜間主コースにあつては開放科目を除くものとする。

共通基礎科目
情報処理科目
健康・スポーツ科学科目
外国語科目
人文・社会科学科目
人間科学科目
自然科学科目
総合科学科目
開放科目

- 2 専門教育科目の区分は、各学部の履修に関する規程(以下「学部規程」という。)の定めるところによる。
- 3 第64条に規定する外国人留学生及び外国人留学生以外の学生で外国において相当の期間中等教育(中学校又は高等学校に対応する学校における教育をいう。)を受けた者(以下この章において「外国人留学生等」という。)の教育について必要があると認めるときは、第1項に規定する科目のほか、留学生用科目を開設する。
- 4 各授業科目を、必修科目、選択科目及び自由科目に分ける。

(授業科目の開設)

第31条 全学教育科目は、本学のすべての教員の参画により開設するものとする。

- 2 専門教育科目は、各学部の教員により開設するものとする。

(授業の方法)

第32条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

- 2 前項の授業は、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(1単位当たりの授業時間)

第33条 1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じた1単位当たりの授業時間は、次の基準によるものとする。

- (1) 講義については15時間
- (2) 演習については30時間
- (3) 実験、実習及び実技については45時間

- 2 前項の基準どおりできない事情があるとき又は教育効果を考慮して必要があるときは、前項第1号の講義及び前項第2号の演習については15時間から30時間の範囲で、前項第3号の実験、実習及び実技については30時間から45時間の範囲で、学部規程又は長崎大学全学教育履修規程(平成16年規程第9号。以下「全学教育履修規程」という。)において定めることができる。ただし、講義、演習、実験、実習又は実技の併用により行う授業及び芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、学部規程又は全学教育履修規程の定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- 3 前2項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(授業期間)

第34条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行う。ただし、教育上特別の必要があると認められる場合は、15週より短い特定の期間において授業を行うことができる。

(成績評価基準等の明示等)

第34条の2 各学部は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 各学部は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(教育内容等の改善のための組織的な研修等)

第34条の3 各学部は、当該学部の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

(他学部における授業科目の履修等)

第35条 学生が他学部の授業科目を履修することが教育上有益であると各学部において認めるときは、当該授業科目を履修させることができる。

2 学生は、他学部の開設する授業科目を履修しようとするときは、所属学部長を経て、当該授業科目を開設する学部長の承認を受けなければならない。

3 前2項の規定により学生が履修した授業科目について修得した単位の取扱いは、学部規程の定めるところによる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第36条 学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することが教育上有益であると各学部において認めるときは、あらかじめ当該他の大学又は短期大学と協議の上、学生が当該他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認め、その履修した授業科目について修得した単位は60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定は、学生が、第24条の規定により留学する場合、外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第37条 学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修について、教育上有益であると認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

2 前項の規定により与えることができる単位数は、前条の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第38条 学生が本学に入学する前に次の各号の一に該当する単位を有する場合において、教育上有益であると認めるときは、その単位を入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

(1) 大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)において履修した授業科目について修得した単位

(2) 大学設置基準(昭和31年文部省令第28号)第31条第1項に規定する科目等履修生として修得した単位

2 学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修について、教育上有益であると認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第36条及び前条第1項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(長期にわたる教育課程の履修)

第39条 学生が職業を有している等の事情により、第4条に規定する修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、長崎大学長期履修規程(平成18年規程第47号)の定めるところにより、その計画的な履修を認めることができる。

(外国人留学生等に係る留学生用科目の単位の取扱い)

第40条 外国人留学生等が留学生用科目について修得した単位は、全学教育履修規程の定めるところにより、全学教育科目として修得すべき単位に代えることができる。

(履修科目の登録の上限)

第41条 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学部規程で定める学生が修得すべき単位数(医学部医学科にあつては所定の授業時間数を含む。以下「卒業要件単位」という。)について、学生が1学年又は1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を学部規程で定めることができる。

2 前項の場合において、学部規程の定めるところにより、所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に規定する上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

(審査及び単位の授与)

第42条 学生が一の授業科目を履修した場合には、審査を行い、合格した者に対しては、単位を与える。

2 審査は、試験、論文、報告書その他の方法により行うものとする。

第43条 審査及び単位の認定は、学部規程又は全学教育履修規程の定めるところによる。

(履修方法等)

第44条 この章に定めるもののほか、教育課程の編成、授業科目の名称、単位数、履修方法、履修科目の登録の上限、審査及び単位の授与等については、学部規程及び全学教育履修規程の定めるところによる。

第5章 卒業及び学位並びに教員の免許状授与の所要資格の取得

(卒業及び学位の授与)

第45条 第4条に規定する期間(第15条及び第16条の規定により入学を許可された者については、第17条第1項の規定により定められた在学すべき年数)以上在学し、卒業要件単位を修得した者については、所属学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定し、学士の学位を授与する。ただし、各学部において必要と認めるときは、在学期間及び卒業要件単位に加え、卒業の要件を課することができる。

2 卒業要件単位のうち、第32条第2項の授業の方法により修得できる単位数は、別に定めのある場合を除き60単位を超えないものとする。

第46条 学部(医学部医学科、歯学部及び薬学部薬学科を除く。この条において同じ。)に3年以上在学した者(これに準ずるものとして文部科学大臣の定める者を含む。)が、卒業要件単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、第4条の規定にかかわらず、その卒業を認めることができる。

2 前項に規定する卒業の認定は、次の各号に掲げる要件のすべてに該当する場合に限り行うことができる。

(1) 学修の成果に係る評価の基準その他の前項に規定する卒業の認定の基準を定め、それを公表している学部の学生であること。

(2) 第41条に規定する履修科目として登録することができる単位数の上限を定め、適切に運用している学部の学生であること。

(3) 学生が卒業要件単位を修得し、かつ、当該単位を優秀な成績をもって修得したと認められること。

(4) 学生が前項に規定する卒業を希望していること。

第47条 学位の授与等については、長崎大学学位規則(平成16年規則第11号)の定めるところによる。

(教員の免許状授与の所要資格の取得)

第48条 本学の学部の学科等において、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める所要の単位を修得した者は、教員の免許状授与の所要資格を取得することができる。

2 前項の規定により所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、別表第2のとおりとする。

第6章 賞罰

(賞罰)

第49条 学生として表彰に値する行為があった場合は、学長は、所属学部長等の推薦により表彰することがある。

第50条 学生が本学の規則に背き大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反する行為があったときは、長崎大学教育研究評議会の議を経て、学長がこれを懲戒する。

2 懲戒は、退学、停学及び訓告とする。

3 停学は、確定期限を付す有期の停学及び確定期限を付さない無期の停学とする。

4 停学の期間が1か月以上にわたるときは、その期間は、第6条の期間に算入し、第45条及び第46条の卒業の要件として在学すべき期間に算入しない。

第7章 検定料、入学料、授業料及び寄宿料

(検定料)

第51条 入学、転入学、編入学及び再入学を志願する者は、検定料を納めなければならない。

(検定料等の額及びその徴収方法等)

第52条 検定料、入学料及び授業料の額並びに徴収方法等は、この学則に定めるもののほか、長崎大学授業料、入学料、検定料及び寄宿料徴収規程(平成16年規程第92号。以下「徴収規程」という。)の定めるところによる。

(入学料の免除及び徴収猶予)

第53条 特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者については、本人の願い出により、入学料の全部又は一部を免除し、又は徴収猶予することがある。

2 入学料の免除及び徴収猶予については、長崎大学入学料、授業料及び寄宿料の免除等に関する規程(平成16年規程第93号。以下「免除規程」という。)の定めるところによる。

(授業料の納期)

第54条 授業料は、前期分及び後期分の2回に分け、それぞれ年額の2分の1に相当する額を次に定める期間に納めなければならない。

前期分 4月1日から4月30日まで

後期分 10月1日から10月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、前期分に係る授業料を納めるときに、当該年度の後期分に係る授業料を併せて納めることができる。

3 入学年度の前期分又は前期分及び後期分に係る授業料については、第1項の規定にかかわらず、入学を許可されるときに納めることができる。

(授業料の免除及び徴収猶予)

第55条 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者その他やむを得ない事情があると認められる者に対しては、願い出によりその事情を審査し、授業料の全部又は一部を免除し、又は徴収猶予することがある。

2 前項の授業料の免除及び徴収猶予については、この学則に定めるもののほか、免除規程の定めるところによる。

第56条 前条に規定する授業料の徴収猶予の期限は、前期分は9月15日限りとし、後期分は3月15日限りとする。

第57条 第54条に規定する授業料の納期中に休学を許可された者については、休学当月の翌月から復学当月の前月までの授業料を免除する。ただし、月の初日から休学期間が開始する場合には休学当月の分、第8条第2項及び第9条第2項の規定により後期の開始日が10月1日前となる場合で当該後期の開始日に復学するときについては復学当月の分についても免除する。

第58条 退学する者、転学する者、停学を命ぜられた者又は除籍される者については、その期分の授業料を徴収する。ただし、免除規程の規定に該当する場合は、この限りでない。

(寄宿料)

第59条 寄宿料の額及び徴収方法等については、徴収規程の定めるところによる。

2 学生に特別な事情がある場合は、寄宿料を免除することがある。

3 寄宿料の免除については、免除規程の定めるところによる。

(料金の返還)

第60条 既納の料金は、返還しない。ただし、次の各号の一に該当する場合は、当該料金の相当額(第2号の場合にあっては第1号に規定する第2段階目の選抜に係る検定料に相当する額を、第4号の場合にあっては後期分の授業料相当額)を返還するものとする。

- (1) 選抜試験において、出願書類等による選抜(以下「第1段階目の選抜」という。)を行い、その合格者に限り学力検査等による選抜(以下「第2段階目の選抜」という。)を行い、最終合格者を決定する場合に、第1段階目の選抜の不合格者が、所定の期日までに第2段階目の選抜に係る検定料の返還を申し出たとき。
- (2) 個別学力検査の前期日程又は後期日程(以下「前期又は後期試験」という。)の出願受付後に各学部等が課す大学入試センター試験の教科・科目を受験していないことにより受験資格がないことが判明した者が、所定の期日までに前期又は後期試験に係る検定料の返還を申し出たとき。
- (3) 第54条第3項の規定により入学を許可されるときに授業料を納めた者が、入学年度の前年度の3月31日までに入学を辞退し、授業料の返還を申し出たとき。
- (4) 第54条第2項又は第3項の規定により前期分の授業料を納入する際に後期分の授業料を併せて納入した者が、後期分の授業料の納入時期前に休学又は退学したとき。

第8章 科目等履修生、研究生、特別聴講学生、特別の課程及び外国人留学生

(科目等履修生)

第61条 各学部の学生以外の者で、本学が開設する授業科目のうち一又は複数の授業科目について履修を希望するものがあるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

(研究生)

第62条 本学において特殊の事項について研究を希望する者があるときは、選考の上、研究生として入学を許可することがある。

(特別聴講学生)

第63条 他の大学又は短期大学(外国の大学又は短期大学を含む。)の学生で、本学の特定の授業科目を履修することを希望するものがあるときは、当該他の大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として入学を許可することがある。

- 2 特別聴講学生に係る検定料及び入学料は、徴収しない。
- 3 特別聴講学生に係る授業料については、科目等履修生と同様とする。
- 4 前項の規定にかかわらず、特別聴講学生が大学間交流協定において授業料を徴収しないこととしている外国の大学若しくは短期大学の学生又は大学間相互単位互換協定において授業料を徴収しないこととしている大学若しくは短期大学の学生であるときは、授業料を徴収しない。
- 5 既納の授業料は、返還しない。
- 6 実験、実習に要する実費は、必要に応じ特別聴講学生の負担とする。

(特別の課程)

第63条の2 学長は、本学の学生以外の者を対象とした特別の課程を編成し、これを修了した者に対し、修了の事実を証する証明書を交付することができる。

2 本学の学生が前項に規定する特別の課程を履修することが教育上有益であると認めるときは、当該課程を履修させることができる。

(外国人留学生)

第64条 外国人留学生として本学に入学を希望する者があるときは、選考の上、入学を許可することがある。

(規程)

第65条 第61条から前条までに関する細部についての規則は、別に定める。

第9章 雑則

(寄宿舎)

第66条 本学に、寄宿舎を置く。

2 寄宿舎に関する規則は、別に定める。

(保健)

第66条の2 学生は、毎学年本学が行う健康診断を受けなければならない。

2 所属学部長は、学生の健康を管理し、必要に応じて治療を命じ、又は登学を停止することができる。

(補則)

第67条 この学則の施行に必要な事項は学長が定め、各学部に必要な規程については、学長の承認を得て、各学部長が定めるものとする。

附 則 (平成 年 月 日学則第 号)

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 改正後の別表第1医学部の項及び同表合計の項の入学定員及び収容定員は、平成29年度までの入学定員及び収容定員とする。
- 3 医学部の収容定員及び収容定員の合計は、改正後の別表第1医学部の項及び同表合計の項の規定にかかわらず、平成23年度から平成27年度までについては、次のとおりとする。

学部	学科・課程	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医学部	医学科	641	662	683	704	720
	保健学科	452	452	452	452	452
	計	1,093	1,114	1,135	1,156	1,172
合計		7,103	7,124	7,145	7,166	7,182

別表第1

学部	定員 学科・課程		入学定員	第3年次(医学部医学科にあっては第2年次)編入学定員	収容定員
教育学部	学校教育教員養成課程		240		960
	計		240		960
経済学部	総合経済学科	昼間コース	355		1,420
		夜間主コース	60		240
				15	30
	計		415	15	1,690
医学部	医学科		116	5	721
	保健学科		106	14	452
	計		222	19	1,173
歯学部	歯学科		50	5	320
	計		50	5	320
薬学部	薬学科		40		240
	薬科学科		40		160
	計		80		400
工学部	機械システム工学科		80		320
	電気電子工学科		80		320
	情報システム工学科		50		200
	構造工学科		40		160
	社会開発工学科		50		200
	材料工学科		50		200
	応用化学科		50		200
	各学科共通			10	20
	計		400	10	1,620
環境科学部	環境科学科		140	10	580
	計		140	10	580
水産学部	水産学科		110		440
	計		110		440
合計			1,657	59	7,183

別表第2

学部	学科等	教員の免許状の種類(免許教科・領域)	
教育学部	学校教育教員養成課程	幼稚園教諭一種免許状	
		小学校教諭一種免許状 小学校教諭二種免許状	
		中学校教諭一種免許状 中学校教諭二種免許状	(国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語)
		高等学校教諭一種免許状	(国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 書道, 保健体育, 家庭, 情報, 工業, 英語)
		特別支援学校教諭一種免許状	(知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者)
経済学部	総合経済学科	高等学校教諭一種免許状	(商業)
工学部	機械システム工学科 電気電子工学科 情報システム工学科 構造工学科 社会開発工学科 材料工学科 応用化学科	高等学校教諭一種免許状	(工業)
水産学部	水産学科	高等学校教諭一種免許状	(理科, 水産)

長崎大学学則の一部を改正する学則（案）

長崎大学学則（平成16年学則第1号）の一部を、次の新旧対照表のように改正する。

新	旧																
<p>第1章 総則</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 長崎大学（以下「本学」という。）は、国立大学法人長崎大学基本規則（平成16年規則第1号）第3条に規定する理念に基づき、実践教育を重視した最高水準の教育を提供し、幅広い視野と豊かな教養及び深い専門知識を備え、課題探求能力及び創造力に富んだ人材を養成し、もって地域及び国際社会に貢献することを目的とする。</p> <p>2 本学の学部の修業年限、教育課程、教育研究組織その他の学生の修学上必要な事項については、この学則の定めるところによる。</p> <p>第1条の2 略</p> <p>（学部、学科、課程及び収容定員）</p> <p>第2条 本学の学部に、次の学科及び課程を置く。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学 部</th> <th style="text-align: center;">学科及び課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">} 略 }</td> <td style="text-align: center;">} 略 }</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">医学部</td> <td style="text-align: center;">医学科，保健学科</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">} 略 }</td> <td style="text-align: center;">} 略 }</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 略</p> <p>3 収容定員は、別表第1のとおりとする。</p> <p>第3条 略</p> <p style="padding-left: 2em;">第2章～第9章 略</p> <p style="padding-left: 2em;">附 則</p> <p>1 <u>この学則は、平成23年4月1日から施行する。</u></p>	学 部	学科及び課程	} 略 }	} 略 }	医学部	医学科，保健学科	} 略 }	} 略 }	<p>第1章 同左</p> <p>第1条 同左</p> <p>第1条の2 同左</p> <p>第2条 同左</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学 部</th> <th style="text-align: center;">学科及び課程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">} 同左 }</td> <td style="text-align: center;">} 同左 }</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">同左</td> <td style="text-align: center;">同左</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">} 同左 }</td> <td style="text-align: center;">} 同左 }</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 同左</p> <p>3 同左</p> <p>第3条 同左</p> <p style="padding-left: 2em;">第2章～第9章 同左</p>	学 部	学科及び課程	} 同左 }	} 同左 }	同左	同左	} 同左 }	} 同左 }
学 部	学科及び課程																
} 略 }	} 略 }																
医学部	医学科，保健学科																
} 略 }	} 略 }																
学 部	学科及び課程																
} 同左 }	} 同左 }																
同左	同左																
} 同左 }	} 同左 }																

2 改正後の別表第1医学部の項及び同表合計の項の入学定員及び収容定員は、平成29年度までの入学定員及び収容定員とする。

3 医学部の収容定員及び収容定員の合計は、改正後の別表第1医学部の項及び同表合計の項の規定にかかわらず、平成23年度から平成27年度までについては、次のとおりとする。

学部	学科・ 課程	平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度	平成26 年度	平成27 年度
医学部	医学科	641	662	683	704	720
	保健学科	452	452	452	452	452
	計	1,093	1,114	1,135	1,156	1,172
合計		7,103	7,124	7,145	7,166	7,182

別表第1

学部	学科・課程	入学定員	第3年次(医学部医 学科にあつては第 2年次)編入学定員	収容定員
〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽
医学部	医学科	116	5	721
	保健学科	106	14	452
	計	222	19	1,173
〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽	〽 略 〽
合計		1,657	59	7,183

別表第2 略

別表第1

学部	学科・課程	入学定員	第3年次(医学部医 学科にあつては第 2年次)編入学定員	収容定員
〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽
医学部	医学科	115	5	715
	保健学科	同左	同左	同左
	計	221	19	1,167
〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽	〽 同左 〽
合計		1,656	59	7,177

別表第2 同左

医学部の収容定員変更の趣旨等を記載した書類

1 収容定員変更の内容

長崎大学学則別表第1に定める医学部医学科の入学定員120名（学士編入学定員を含む。）について、平成23年度から平成31年度までの9年間、地域医療特別枠を1名増員し、121名とする。

2 収容定員変更の必要性

長崎県は、五島、壱岐、対馬など54の有人離島を有し、県人口約142万人のうち約10%が離島に居住する全国一の離島県である。離島・へき地の医師確保については、昭和43年に離島の9つの中核病院を経営する長崎県離島医療圏組合（平成21年度から長崎県病院企業団に発展的に改組）が設立され、昭和45年に創設された長崎県独自の医学修学資金による養成医師をこれらの病院へ配置することにより、離島医療の充実が図られてきた。

しかしながら、離島という地理的特性及び地域医療確保の困難性により、長崎県病院企業団等の病院や各離島に所在する54のへき地診療所の医師確保に長崎県や地元自治体が相当の努力を行っても、未だ完全に医師数を充足することはできておらず、人口10万人当たりの医師数は、全国平均222.8人に対し、離島地域では161.6人と大きく下回っている。

また、近年の大学の医師数減少等の影響により、本土へき地においても医師不足が顕著となっている。

このような状況下において、平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略」や9月29日に公表された厚生労働省の「病院等における必要医師数実態調査」の結果等を踏まえた地域の医師確保等対策として、「地域の医師確保等の観点からの平成23年度医学部入学定員の増加について（平成22年10月21日付け文部科学省高等教育局長通知）」及び「平成23年度医学部入学定員の増員に伴う対応について（平成22年10月21日付け厚生労働省医政局長通知）」が医学部を置く各国公私立大学長及び各都道府県知事あてに通知があり、長崎県と協議した結果、次のとおり合意した。

- 1) 医師養成増数は1名とする。
- 2) 長崎県は地域医療再生計画による医師確保等の取組を行う。
- 3) 長崎県が従来から実施している長崎県医学修学資金貸与制度を活用する。
- 4) 医学修学資金の受給を出願要件とした入学者選抜を行う。

5) 入学者選抜は、長崎大学の選抜方法に従う。

以上の結果、長崎県の奨学金受給を出願要件とする地域医療特別枠を5名から6名に1名増員することとなった。

なお、長崎県の奨学金受給を出願要件とする地域医療特別枠増員分の1名については、推薦入試として、次のような方法により選抜することで長崎県と合意した。ただし、平成23年度入学者選抜については、入試日程の都合により一般入試に含めて募集する。

- 1) 長崎県内の小学校、中学校又は高等学校の卒業生（現役又は一浪に限る）を対象とする。
- 2) 大学入試センター試験により基礎学力を判定する。
- 3) 高等学校長から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書及び個人面接を評価の対象とし、適性を総合的に判断する。
- 4) 長崎県医学修学資金受給の意思を確認するため、志願者に長崎県からの推薦書（長崎県の面接を受け推薦された者）を提出させる。

3 収容定員変更に伴う教育課程等の変更内容

本学医学部は、長崎県内の地域医療を担う医師を養成するために、これまで次のとおり医学教育プログラムを実践してきた。

- 1) 平成16年度文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に本学の「地域と連携した実践型医学教育プログラム」が採択された。

このプログラムは、医学部5年次全学生を対象として、長崎県の特色である離島をフィールドとした1週間の離島実習を必修カリキュラムとして行い、離島実習を通して現代版“赤ひげ医師”を育成することを目的としている。

本学医学部は、病める人と良好なコミュニケーションができ、病気を診るだけでなく病める人の心と置かれている環境を洞察しつつ（全人的医療）、病気を治癒するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭・社会への復帰や社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯に目指す（包括的保健）医師を育成することを教育理念としている。こうした全人的医療と包括的保健を実践できる医師こそが21世紀に求められる医療人であり、人間味あふれた現代版“赤ひげ医師”とも言える。

本プログラムは、本学医学部の教育理念に基づいた過去の取組実績の延長線上に位置づける高年次実践型臨床実習であるとともに、地域（離島）医療に貢献できる医療人の育成という地域の切実な要請に応える点で他に類例のない特色的

なものである。

- 2) 平成 16 年度から、長崎県及び関連する五島列島所在 1 市 5 町による寄附講座として、本学大学院医歯薬学総合研究科に「離島・へき地医療学講座」が開設された。その活動拠点として、長崎県離島医療圏組合五島中央病院（現長崎県五島中央病院）内に設置された「離島医療研究所」は、長崎県と本学との離島医療連携の拠点となっており、本学医学部の離島実習では全面的な教育支援を受けている。
- 3) 卒後臨床研修プログラムには、診療科横断的な研修を行う総合科目があり、その総合科目の中にある「離島医療総合コース」では、離島の中核病院で 3～6 ヶ月間、地域医療研修を行っている。
また、長崎県の医学修学資金貸与制度では、返還免除の必要勤務期間（9 年）内に長崎県本土の基幹病院における臨床研修、再研修及び定着勤務の期間を合計 4.5 年間設け、医師の先端医療研修の機会を確保している。
- 4) 医療人 G P 「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム（平成 17 年度採択）」により、本学病院に設置された「へき地病院再生支援・教育機構」が中心となって、県北の医療過疎地域に大学から指導医を配置して、地域医療の専門家を養成する後期研修プログラムを担当している。
- 5) 「地域と連携した実践型医学教育プログラム（特色 G P）」による活動の一貫として、全国の医学生や研修医を対象とした「家庭医療集中セミナー」を平成 18 年度より離島で実施している。地域医療に従事するために必要となる知識や技術の習得と離島の地域医療現場の視察を主体とした内容で、毎回全国各地から地域医療や家庭医療に興味を持つ約 30 名の参加者がある。
- 6) 医学部 5 年生の必修である離島実習において、本学薬学部 4 年生全員 80 名が平成 19 年度より医学部との共修を開始し、地域医療の現場で不可欠なチーム医療の教育に取り組んでいる。
- 7) 平成 18 年度に福岡大学医学部との教育協定を締結し、福岡大学医学部の学生を対象に長崎県離島の保健・医療・福祉施設で定期的な地域医療・保健実習を行っている。他大学医学部学生からの実習希望も可能な限り受け付けている。
- 8) 長崎県離島の行政機関が主体となって開催しているスポーツイベントのメディアカルサポートに、地域医療教育の一環として本学の医学生と教員が毎年参加し、地元医師会と連携して教育を行っている。

以上のような本学医学部の教育実績を踏まえて、このたびの地域の医師確保対策を実施するに当たっては、基本的には一般選抜の学生と同じカリキュラム内容とする。現行の本学医学部のカリキュラムには、「医と社会」、「医学ゼミ」、「リサ

一チセミナー」，「臨床実習」，「高次臨床実習」等の特徴的な科目があり，その中で多くの地域医療に関する内容が網羅されていることから，更に現行カリキュラムを変更する必要性はないと判断した。

【現行の医学部カリキュラムの概要と特徴的な科目のシラバス（資料1）参照】

なお，地域医療に係るカリキュラムとして各学年においては次のような対応を行う。

1) 1年次への対応

学際的医学入門として行う授業（科目名「医と社会」）では，本学医学部保健学科と共修するとともに，大学病院，介護老人保健施設における体験実習を行う。

少人数教育として行う選択必修科目「医学ゼミ」に，地域医療，総合医療，離島医療をテーマとしたゼミを開講し，地域医療枠の学生を優先的に受講させる。1年次の「医学ゼミ」のテーマは，「しまで学ぶ地域医療」及び「長崎のへき地・離島医療を考える」である。

1年次から3年次の夏季休暇時には，「離島・へき地医療学講座」が主催する長崎家庭医療集中セミナーにボランティアスタッフとして参加させる。

【長崎家庭医療集中セミナーのスケジュール（資料2）参照】

2) 2～4年次への対応

「医と社会」，「医学ゼミ」による教育を継続する。

特に3年次の「医と社会」においては，10週にわたって地域診療所と福祉施設での体験実習を行う。

「医学ゼミ」のテーマは，「事例より学ぶ家庭医療学」，「論文から学ぶ公衆衛生学」，「長崎の離島・へき地医療を考える」などである。

3) 5～6年次への対応

臨床実習の一部として，5年生全員が長崎県の離島に1週間滞在し，離島の医療（基幹病院とへき地診療所）・保健・福祉施設での体験実習を行う。

地域医療枠の学生に対しては，6年次の高次臨床実習中に1クール（5週間）の五島列島又は対馬の中核病院での実習を義務づける。

4 県が設定する奨学金の内容

【長崎県医学修学資金】

受給者数の拡大を図るため，平成23年度から返還免除の要件を緩和（必要勤務期間を貸与期間の2倍から1.5倍に短縮）する。

貸与額：入学料282,000円・授業料535,800円（年額）・生活費70,000円（月額）・

図書費 200,000 円(3～6年次のみ,年額)

卒業までの総貸与額:9,336,800 円

返還免除の条件:貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間(臨床研修を含む。
うち,離島・へき地に2分の1以上の期間)を知事が指定する医療機関
等へ勤務すること

選抜方法:面接等

【長崎県医学修学資金貸与制度(資料3)参照】

5 その他今後取り組む地域医療貢献策等の内容

1) 卒後の臨床研修・専門医研修での取組

上記3に記載した卒後臨床研修プログラムによる医師の地域定着率の変化を分析し,卒後臨床研修プログラムの見直しを図る。プログラムの充実により,臨床研修後も地域の中核病院や離島・へき地の病院を循環しながらキャリアアップしていくことを推奨する。専門医研修とともに,社会人大学院生としての研究の時間を確保し,先端医療技術とともにリサーチマインドを持つ若手医師を養成し,地域医療,予防医療のレベルをアップする。

2) 医師の派遣・紹介の取組

大学病院が中心となり,若手医師の地域病院への赴任期間を短縮するなど,効率よくローテーションさせるシステムを構築し,若手医師の家族との生活や教育に対する不安を解消させる。

3) 女性医師,地域開業医の再研修

出産や養育のために一線の医療現場から離れた女性医師や,開業期間が長期となった地域開業医のために,本学病院に設置された「へき地病院再生支援・教育機構」が中心となり,大学病院や基幹病院の専門医が最新の医療技術の講義や実習を行うことにより再教育され,人材の再活用を図ることにより,地域医師数の実質的な増加を促進する。

医 と 社 会

責任者	氏名	中園 一郎	内線	7074
	教室	社会医学・法医学	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16:30～17:30		

対象年次・学期	1年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

医学生として図書館の利用法、プライマリヘルスケアから先進医療についてまで幅広い知識を得るとともに、保健学科との共修でチーム医療および患者の立場に立った医療に必要な患者の心の理解、患者とのコミュニケーションを学ぶ。同時に体験実習を通して、医師の立場から（病院実習）、リハビリ、介護の面からまた看護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

- (1) 病院実習1 長崎大学病院 保健学科と共修
- (2) 病院実習2 リハビリテーション施設 保健学科と共修
- (3) 病院実習3 長崎大学病院医局

2) 医学テーマ

- (1) 臓器移植・再生医療
- (2) 医療の歴史と医の倫理
- (3) プライマリヘルスケア
- (4) 熱帯医学
- (5) 図書館の利用法
- (6) 感染症とは
- (7) 対人関係
- (8) 病気、ストレスとこころ
- (9) 対患者関係
- (10) チーム医療、など

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。

5. 教員名

非常勤：相川忠臣
 法医学：中園一郎
 総合診療科：大園恵幸
 図書館担当者（学術情報部）：平林昇、松村悠子
 保健学科：浦田秀子、千住秀明、田中悟郎、松坂誠應、教務委員
 熱帯医学研究所：平山謙二
 第2外科：兼松隆之、江口晋
 第2内科：中富克己
 熱研内科：有吉紅也
 保健・医療推進センター：田山 淳
 医師育成キャリア支援室長：浜田久之
 非常勤：八坂貴宏（長崎県離島医療圏組合上五島病院院長）
 非常勤：永田耕司（活水大学教授）
 学外実習は別冊参照

医 と 社 会

責任者	氏名	中園 一郎	内線	7074
	教室	法医学（法医学生体分子解析学）	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	2年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている環境を洞察しうる医師となる。

病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

A 医療と人間

人の心の発達、性と生、高齢期を生きる、医療人と患者及び家庭との関係の4区分で講義を行い、問題意識を深める課題を各講義で提示する。学生は課題を選び、計2つのレポートを提出する。スモールグループで1課題を調べ、セミナーで発表する。

1) 人の心の発達

乳幼児と親の心、乳幼児期と思春期、子供と社会、学童期と思春期の心の発達

2) 性と生

人間の性、リプロダクティブヘルス&ライツ、QOLとしての性、ドメスティックバイオレンス

3) 高齢期を生きる

高齢期の特徴、高齢期介護の実際、地域における高齢者の生活を考える、痴呆性高齢者を家族と地域で支える

4) 医療人と患者及び家族との関係

自助グループ活動と医療人の役割、看護の心、ホスピス、私の考える理想の医師像

3. 教科書、参考書等

各区分の最初の時間に紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

4つの各区分のうち課題を選んでレポートを2つ提出する。発表会のテーマの1つを担当する。再履修のため受講できない学生については別途面談の上決めていきたい。

レポート、発表会、出欠状況などを総合して評価する。

5. 教員名

委員：中園一郎、中富克己、宇賀達也、保健学科教務委員

A1：川原ゆかり（長崎短期大学保育学科准教授）、小柳憲司（長崎県立こども医療福祉センター診療部長）、岡田雅彦（小児科）、西村喜文（西九州大学社会福祉学科教授）

A2：安日泰子（やすひウィメンズヘルスクリニック院長）、中村まり子（在宅助産師）、中田慶子（DV防止ながさき）

A3：陣野紀代美（長崎市医師会保健福祉センター）、菅崎弘之（すがさきクリニック院長）、石松隆和（工学部）

A4：菊池妙子（長崎県こども・女性・障害者支援センター）、中尾勘一郎（ホーム・ホスピス 中尾クリニック院長）、山口 明（元壱岐警察署）、中川賀雅、西田健一郎（ダルク）

6. 備考（準備学習等）

「課題の発表会およびレポートの作成にあたり、各グループは、担当区分の教員に連絡をとり許可を得たうえで体験学習を行なうこと。また、発表会の3日前に、準備した発表スライドを医育支援センターに持参し、発表会用のプリント（ハンドアウト）を用意すること。」

医 と 社 会

A. 診療所体験実習

責任者	氏名	中園 一郎	内線	7074
	教室	法医学（法医学生体分子解析学）	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

患者の立場に立った医療を行える医師を目指すために、診療所および老健施設、障害者施設、在宅訪問看護などの体験を通して、患者との良好なコミュニケーションのとり方、患者の診察法、チーム医療の重要性を理解する。また病気に苦しんでいる人および身障者の人達と接する際の医学生としての基本的マナーや心構えおよび対応の仕方などを学ぶ。

同時に診察、介護などの体験実習を通して、診察や介護面でてきた問題点を抽出し、自己による問題解決能力を身につける能動学習法を実践する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

- (1) 診療所体験実習
- (2) 老健施設、在宅介護センター体験実習
- (3) 障害者リハビリセンター体験

2) 講義(実習も含む)内容

- (1) 患者とのコミュニケーション（模擬患者）
- (2) 患者診察入門
- (3) 高齢者医療
- (4) 介護・介助（介護保険とチーム医療）

3) 体験討論・レポート作成

診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況など「A. 診療所体験実習」「B. 医哲学、医療倫理」を総合して評価する。

5. 教員名

総合診療科：大園恵幸、吉岡寿麻子、井上圭太

保健学科：松井美帆

法医学：中園一郎

学外体験実習については別冊参照

6. 備考（準備学習等）

B. 医哲学、医療倫理

責任者	氏名	大津留 晶	内線	7594
	教室	国際ヒバクシャ医療センター	e-mail	ohtsuru@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	13時～16時		

責任者	氏名	中園 一郎	内線	2250
	教室	法医学(法医生体分子解析学)	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medical ethics and philosophy		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

医と社会では、これまで「病める人と良好なコミュニケーションが行え、病気を診るだけでなく病める人の心とおかれている環境を洞察しうる医師となる。」や、「病気を治療するだけでなく医療チームや家族と力を合わせ、患者の家庭や社会への復帰と社会の偏見を克服して患者の社会参加を真摯にめざす医師となる。」ことを目標にしてきた。その目標を達成することに必要な哲学や倫理を、医療の側から見ることと、医療職でない立場の人から見る場合では、大きく捉え方が異なることがある。そこで3年生後期の本講義では、医療職でない方々から見た医哲学・医療倫理を、学生の皆さんと一緒に考えてもらうこととする。

2. 授業内容（講義・実習項目）

本年度は、元厚生労働省医系技官の秋野先生をお招きし、健康・医療行政における医哲学を紹介していただく。次に富山大学の法学者・秋葉先生をお迎えし、法と人権という切り口で、生命倫理について考えてゆく。さらに臨床パストラルケア研修教育センターの理事長で、宗教家でもあるキッペス先生とともに、スピリチュアル・ケアとは何かを考える。またマスコミの報道部として医療問題も取り扱ったことのある慎改記者に、報道の立場からみた医の倫理を取り上げていただく。最後に医療上の倫理的問題を哲学者の立場で取り組んでおられる日本の第一人者の加藤先生（京都大学名誉教授）をお招きしている。必ず出席する事。

3. 教科書、参考書等

適宜プリントを配付する。

4. 成績評価の方法・基準

「B. 医哲学、医療倫理」すべて出席すること。全体を通じてのレポート（約2000字以上）を提出すること。出席カードへのレスポンス（60%）と全体レポート（40%）を総合し評価する。

授業予定（3年後期）

月	日	曜日	校時	授業内容	担当講座等・教官	教室
10	20	水	1	医療行政と健康哲学（仮題）	元厚生労働省・秋野公造	臨床大講義室
			2	法と人権から見た生命倫理（仮題）	富山大学・秋葉悦子	臨床大講義室
10	28	木	2	スピリチュアル・ケアとは？（仮題）	臨床パストラルケア教育研修センター・ワルデマール・キッペス	臨床大講義室
			3	医療におけるマスコミの役割（仮題）	KTN報道部・慎改彰子	臨床大講義室
			4	生命についての思想と科学（仮題）	哲学者・加藤尚武	

医 と 社 会

責任者	氏名	中園 一郎	内線	7074
	教室	法医学（法医生体分子解析学）	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	4年・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	医と社会7.5単位の一部
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

がん患者などのターミナルケアなどの医療場面では、たびたび対応が難しい場面に遭遇する。このような状況でのがん患者などへのインフォームドコンセントの取り方及び患者や家族の心の葛藤及びケアについて学ぶ。また大学病院及び地域医療におけるターミナルケアの現状及び取り組みについても学ぶ。

またコア・カリキュラムにもあげられているリスクマネジメント、医療事故及び医療法制、死生学を取り上げる。

臨床の現場では、医療事故を如何に防止するかについて安全管理に関する心構えを身に付けかつ倫理面を認識した上での医事法制を学ぶ。

2. 授業内容（講義・実習項目）

がん患者やその家族の心の葛藤及びケアについて学ぶとともに、医師としてのがん患者やターミナルケアにおける実際の接し方を教授する。また大学病院及び地域医療でターミナルケアがどのように実践されているかを講義する。その他ターミナルケアが必要ながん患者へのインフォームドコンセントの行い方を模擬患者を使って経験する。

また医療マネジメント、医療事故に関し具体例をあげ、医療リスクマネジメントの実際を学ぶ。さらに医師にとって重要である医療情報のITとその安全管理や医事法制についても法律の専門家による講義を予定する。医師にとって必要な法的側面及び倫理観、宗教観からみた死生学について講義する。

3. 教科書、参考書等

特に指定しない。医療マネジメント、医事法制などの出版物は少なくない。必要に応じて各講義で紹介する。

4. 成績評価の方法・基準

レポート、出欠状況及び授業を行った教員の評価結果を総合して決定する。

5. 教員名

法医学：中園一郎

歯学部：藤原 卓

麻酔科：北條美能留

救急部：山下和範

保健学科：大西眞由美

非常勤：福田浩久（弁護士）

非常勤：森 俊介（独立行政法人国立病院機構 長崎病院院長）

非常勤：児島達美（長崎純心大学人文学部教授）

非常勤：永田耕司（活水女子大学教授）

非常勤：浅野直人（福岡大学法学部長）

非常勤：早島 理（滋賀医科大学教授、哲学倫理学）

非常勤：向原茂明（長崎県福祉保健部参事監）

非常勤：池内 了（国立大学法人総合研究大学院大学教授）

非常勤：出口雅浩（出口外科医院副院長）

医学ゼミ

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	1年：前期、後期 2年：前期、後期 3年：前期 4年：前期、後期	講義形態	担当教員が講義形態を決定する。
必修・選択	必修	単位数	前期、後期各1
英語名	Small group medical seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

必修選択の科目であり、各科目10名前後の少人数教育を行う。自らが特に学習したい分野を選択し、その分野についてコアとなる教科内容を越えて特定の内容を深く掘り下げる学習を行う。当該分野の医学・科学に対する探求心・問題解決能力の育成と、より深い理解を目指す。少人数で担当教員との双方向性の授業を行うことにより教官と親しく交流すると共に、1年次から4年次まで学年間の壁を越えて共に学ぶ環境を提供する。AO学生は、医学ゼミを通して当該領域の知識を深める。

2. 授業科目の選択方法

- A. 各開講科目について、教育目標、授業内容、担当教官、開講場所、開講時間帯等を公示する。
- B. 各学年開始前に、前期・後期別に受講希望科目を学務係に提出する（第3希望まで）。
- C. 第1希望を優先し、各科目へ学生の割り振りを行う。

3. 教科書、参考書等

担当教員が提示する。

4. 成績評価の方法・基準

1、2年次前期・後期、3年次前期、4年次前期・後期に開講する。3年次への進級には2年次で1単位以上、4年次への進級には3年次までに2単位以上、5年次への進級には4年次までに3単位以上修得する必要がある。卒業のための最低修得単位数は3単位である。

5. 指導教員など

医学科、熱帯医学研究所、先導生命支援センター教員

6. 備考（準備学習等）

担当教員が提示する。

「医学ゼミ」平成21年度開講テーマ一覧(1年次)

(1年次前期)推薦入試・AO(国際医療)入試選抜学生

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
1 離島・へき地医療学	推薦・地域医療	しまで学ぶ地域医療	前田隆浩	離島における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能を、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療関連施設において見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	受講生と相談し、長期休暇を利用して開講日を決定する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場	出席、発表、レポート
2 へき地病院再生支援・教育機構	推薦・地域医療	長崎のへき地・離島医療を考える	調 漸	長崎県のへき地や離島医療の現状を知り、これからの地域医療について考える	地域医療の最前線に赴き、地域で活躍する医師、看護師、保健師、介護職員、救命救急師、行政職員による講義と、地域医療・介護実習を行う。実習の最後にグループでディスカッションを行い、結果を発表する。	9月中旬に2泊3日の合宿形式で、集中講義と実習を実施する。	平戸市、平戸市民病院、生月病院	出席、レポート、発表
3 原研・熱研	1年、2年次AO前期	原研・熱研における国際保健活動の紹介	山下俊一 有吉紅也	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研・熱研における活動、特に国際保健分野における活動、を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	原研・熱研各分野の教員が、それぞれの分野の背景・活動内容を平易に説明・紹介する。あわせて関連の英文資料を輪読することで国際保健、国際医療の実際についてより深い理解を得る。	月曜日5校時	原研棟3階コミュニティセンター、熱帯医学研究所小会議室	

「医学ゼミ」平成22年度開講テーマ一覧(2年次)

(2年次前期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
1 免疫機能制御学	2・3・4年前期	論文から学ぶ免疫学	田村隆彦	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。3、4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。 論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室 集会室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
2 公衆衛生	2・3・4年前期	論文から学ぶ公衆衛生学	青柳 潔	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート
3 精神科神経科	2・3・4年前後期	「映画から見る精神医学」	小澤寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通して、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通して、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論する	映画を観賞する都合上、4・5時間目(水曜日17:00以降)を利用し、授業回数を8回とします。(日程は講義初日に学生と協議のうえ決定)5校時目以降に他の科目を受講する方はご留意ください。	長崎大学病院 精神神経科7F ラウンジ	レポート50%、及びディスカッションへの参加状況50%
4 生理学第一	2年前期	小説「赤ひげ」を読む —文学作品に描かれた医師像と医学を考える—	松本逸郎	医師には高い医学的知識と技術のほか、深い人間愛と多様な生き方を許容理解する力がある。先人の『ひと』に対する洞察には学ぶところが多い。山本周五郎作小説『赤ひげ』を読みながら『ひと』に対する理解と目指すべき医師像は如何にあるかの大テーマに挑むとともに書に親しみ、感性を磨きつつ、読むことの楽しさを共に体験したい。	あらかじめ用意した設問を念頭に全員が作品を通読する。『赤ひげ』の8話のそれぞれについてチューターによる粗筋の紹介をし、設問に対する意見や各人の最も強く感じたことを発表(毎回レポートとして提出し全員討論を行う。最終回は黒澤明監督の映画『赤ひげ』を鑑賞して映像文化と文芸作品との違いを考察する。	金曜日1校時	セミナーができる小講義室	毎回提示する設問のレポート
5 感染分子解析学	2・3・4年前期	薬害ヤコブ病の本質を探る	西田教行 佐藤克也	本邦へ発生した薬害感染症の一つである薬害ヤコブ病(硬膜移植後クロイツフェルトヤコブ病)について能動的に学ぶ。学生自身で学習テーマ・研究テーマを設定し、発表とグループ・ディスカッションを進めながら、問題の本質を考える。	チュートリアル方式にて指導。毎週各自が設定した学習テーマについて文献的に調べてきた内容を発表する。全員で議論を重ねながら問題点を掘り下げていく。英文の原著論文で読解が難しいものはゼミの時間を使って読むこともある。学習レポートと最終レポートを提出してもらい、評価する。	金曜日1校時	感染分子解析学教室 集会室	口頭発表内容、セルポートレポート、レポート
6 泌尿器科	2・3・4年前期	ビデオとマンガから学ぶ“泌尿器科ってなんだ?”	井川 肇	本ゼミを泌尿器科学入門と位置づけ、身近な問題から泌尿器科学の領域と特徴を理解する。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴を直観的に捉えられるように、ビデオ画像やマンガ等のメディアを用いた講義を行う。	金曜日1校時	第一臨床研究棟7階泌尿器科医局	討論への参加度と小テスト
7 小児科	2年前期	病児を通じ「ヒトの生命」について考える	岡田雅彦	「ヒトの生命」という一見漠然としたテーマについて、小児疾患をもつ子どもたちを具体的に紹介し、家族背景や社会環境を含めて議論・検討する。	医学は日々進歩し、むかしは不治の病といわれていた病気が多くは治癒できるようになった。しかし現在でも死に至る疾患や、生命はおびやかさずとも一生障害をもっていかねばならない小児疾患も多数ある。一方で遺伝子診断を中心にして、ある疾患については出生前診断や罹患発症の予測もできるようになり、われわれをとりまく医療は大きく変わろうとしている。本ゼミでは大学病院小児科病棟に実際に入院している子供たちとその付き添いのご家族に直接会ったり話をしたりしながら、出生前診断、先天奇形・染色体異常、低出生体重児、先天性心疾患、小児がん、慢性疾患(内科へのキヤリーオーバー)、脳性麻痺、臓器移植・遺伝子治療などの疾患・医療を実際に紹介し、これらを通してヒトの生命の意味、またこれに関わる医療について考えていきたい。	金曜日1校時	6階小児病棟 集会室または6階西病棟ゼミナール室	ゼミ中の討論内容、レポート
8 医師育成キャリア支援室	2・3・4年前期	プロフェッショナリズム&キャリアの軌跡	浜田 久之	SMAP方式を通してプロフェッショナリズムを考える。将来プロフェッショナルである医師職に就くために、プロとは何かをお互いに語り(Speak)、自分で体を動かして(Move)、先輩方の意見を聞き(Active listening)、積極的に学ぶ(Positive learning)。	「予定内容」①プロフェッショナリズム等考えるワークショップ(Speak)、シミュレーション器材を使用した(Move)②先輩医師がどういった軌跡をたどってきたかを聞く(Active listening)③看護師や他の医療職、DVDから聞くプロフェッショナリズム④自分がどういったプロになるべきかを学び(Active learning)発表する。「コース参加資格」①早起きができ、講義形式ではないワークショップに能動的に参加できる人②自分のキャリアを真剣に考える。	原則 金曜日7時50分～9時20分	大学病院内3階シミュレーション室(医師育成キャリア支援室横)	SMAP(speak, move, active listening, positive learning)の総合評価。
9 生化学	2年・3年・4年前後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など
10 原研・熱研	1年、2年次AO前期	原研・熱研における国際保健活動の紹介	山下俊一 有吉紅也	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研・熱研における活動、特に国際保健分野における活動、を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	原研・熱研各分野の教官が、それぞれの分野の背景・活動内容を平易に説明・紹介する。あわせて関連の英文資料を輪読することで国際保健、国際医療の実状についてより深い理解を得る。	月曜日5校時	原研棟3階コミュニケーションセンター 熱帯医学研究所小会議室	出席、授業態度、レポート
11 生化学	1～6年前後期	医学英語(定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。)	伊藤 敬 小笠原直司	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が知りやすい誤りとして、文法的な誤りの他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、さらに演習的要素も取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けるように訓練するとともに、リスニング、及びスピーキングスキルの訓練も併せて行う。また、この目的にそった英訳課題を出す。実際自分で英文を書くことによって、学生は英語の表現能力を高めてほしい。	火曜日5校時	第1講義室	テストとレポート、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。

「医学ゼミ」平成22年度開講テーマ一覧(2年次)

(2年後期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
解剖学第一	2、4年後期	臨床解剖学への招待	弦本敏行	各臓器の病態生理の肉眼解剖学的側面を掘り下げ、その理解を深める	さまざまな臓器に生じる各種の疾患を提示し、それらの発症メカニズムの肉眼解剖学的背景について考察する	金曜日1校時	視聴覚室No.1	出席、レポート、質疑応答
免疫機能制御学	2・4年後期	論文から学ぶ免疫学	由井克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根底にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室集会室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
薬理学	2年後期	「脳を守る」	丹羽正美	脳を保護することの意義を理解し、その手段を考える。	脳・神経細胞の維持育成機構を理解し、破壊する原因を探索することで、認知症治療薬の重要性を学ぶ。	月曜日5校時	薬理学第一教室セミナー室	毎回行う小テスト
精神科神経科	2・3・4年前後期	「映画から見る精神医学」	小澤寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論する	映画を観賞する都合上、4・5時間目(水曜日17:00以降)を利用し、授業回数を8回とします。(日程は講義初日に学生と協議のうえ決定)5校時目以降に他の科目を受講する方はご留意ください。	長崎大学病院精神神経科カンファレンスルーム	レポート50%、及びディスカッションへの参加状況50%
総合診療科	2年後期	事例より学ぶ家庭医療学	大園恵幸	地域医療の中心となる家庭医療についてプライマリケア、心のケア、在宅医療、欧米における家庭医療などの事例を検討することにより家庭医療学の理解を深める。	日本と欧米の家庭医療の違い、プライマリケア、在宅医療、家族志向のアプローチ、臨床倫理などの事例を提示し検討する。	金曜日5校時	総合診療科医局	出席、発表、討論内容にて評価する。
腫瘍外科	2後期・3・4年前後期	サッカー-医学概論	安武 亨	スポーツを通じて医学を学ぶ。	運動と関連した解剖学・生化学・生理学・栄養学・スポーツ傷害・運動生理学などを楽しく学ぶ。	前期水曜日5校時、後期火曜日5校時	医学部講義棟ゼミ室	出席、レポートなど
生化学	2年・3年・4年前後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など
生化学	1～6年前後期	医学英語(定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。)	伊藤 敬 西原俊明	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤り(他、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、演習の要素も取り入れ、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関する英文記事を読み、短時間にまとめて英語で発表する訓練を併せて行う。	火曜日5校時	第1講義室	テストと課題、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加
医育支援センター	以下参照	臨床カンファレンス	桑原宏永 國崎真己 宇賀達也 福島千鶴 安武亨	臨床カンファレンスへの出席という形で臨床に触れ、学年に応じた自分の学習に生かす	診療科で実施されているカンファレンスに出席する。そこで得たものを元に、自己学習を加えて、レポートを作成する。5回のカンファレンスに出席し、5つのレポートを作成する。	別に示す診療科のカンファレンスより1つ選択する。基本的には同一科のカンファレンスに5回出席するものとする。	別に示す	出席態度およびレポート(参加したカンファレンスの科にかかわらず、レポートは医育支援センターに提出する。)
【医育センターの内訳】	第2内科	2、4年後期	呼吸器カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示と問題点・今後の方針等に関する討議	毎週木曜日17時から	12階西カンファレンス室	
	第2内科	2、4年後期	腎臓カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示と問題点・今後の方針等に関する討議	毎週木曜日16時30分から	13階東カンファレンス室	
	第1内科	2、4年後期	脳卒中カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示	毎週月曜日17時30分から	9階カンファレンス室	
	第1内科	2、4年後期	リウマチ膠原病カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示	毎週水曜日17時から	12階東カンファレンス室	
	第1内科	2、4年後期	臨床抄読会		神経内科、リウマチ膠原病内科、内分泌代謝内科に関連した臨床論文2編を紹介。現在入院中の症例に関する最新知見を共有する。	毎週金曜日7時45分から	12階カンファレンス室	
	第2外科	2、4年後期	M & Mカンファレンス		各診療班が問題症例などを提示し、反省点などを検討し、今後の診療に生かす	毎週土曜日8時30分から	第2外科医局(第一臨床研究棟)	
	第1外科	2、4年後期	術前・術後カンファレンス		手術予定及び術後の患者さんの症例提示と討論	毎週木曜日17時から	第1外科医局(第一臨床研究棟)	
離島へき地医療学	2年後期、3年前期・AO地域枠が主、地域枠以外の学生も可	しまで学ぶ地域医療	前田隆浩	離島における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療関連施設において見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	受講生と相談し、長期休暇を利用して開講日を決定する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場	出席、発表、レポート

「医学ゼミ」平成22年度開講テーマ一覧(3年次)

(3年次前期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内 容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
1 免疫機能制御学	2・3・4年前後期	論文から学ぶ免疫学	田村隆彦	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。3、4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室集會室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
2 精神科神経科	2・3・4年前後期	「映画から見る精神医学」	小澤寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論する。	映画を観賞する都合上、4・5時間目(水曜日17:00以降)を利用し、授業回数を2回とします。(日程は講義初日に学生と協議のうえ決定)5校時目以降に他の科目を受講する方はご留意ください。	長崎大学病院精神神経科カフアナルーム	レポ→150%、及びディスカッションへの参加状況50%
3 公衆衛生	2・3・4年前期	論文から学ぶ公衆衛生学	青柳 潔	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	金曜日1校時	公衆衛生学資料室	積極性、レポート
4 泌尿器科	2・3・4年前期	ビデオとマンガから学ぶ「泌尿器科ってなんだ?」	井川 掌	本ゼミを泌尿器科学入門と位置づけ、身近な問題から泌尿器科学の領域と特徴を理解する。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴を直観的に捉えられるように、ビデオ画像やマンガ等のメディアを用いた講義を行う。	金曜日1校時	第一臨床研究棟7階泌尿器科医局	討論への参加度と小テスト
5 消化器内科	3・4年前後期	難治性C型肝炎の診断と治療の結果予測	市川辰樹	C型肝炎の診断と治療の当科通院例から学ぶ	電子カルテを使った症例検討	水曜日午後5時	消化器内科カンファ室	毎回の意見内容を総合的に評価する
6 神経形態学(解剖学第一)	3年前期	Neuroanatomy of the Mind: 心の神経解剖学	森 望	今「こころ」の問題が重要視されてきている。「こころ」の理解の原点は「意識」の理解にある。自己に向かう意識と他者へ向かう意識の両方に「こころ」が派生する。無論、「こころ」や「意識」は脳の機能である。では、「こころ」は、いつ、(脳内の)どこに、どのように形成されるのか?(脳内で)どう成長し、円熟し、崩壊していくのか? 究極の進化産物である物質としての脳の脳から、この複雑な精神構造としての「こころ」は発生学上、また進化した上で成立したのか?そして、「こころ」はどのように、壊れてゆくのか? 2年時に学んだ神経解剖学・脳解剖学をベースに、「認知脳科学」の最先端の教科書、参考書を通じて脳の高次脳機能の究極である「こころ」の脳内メカニズムを探る。	神経解剖学、神経生理学の基礎知識をベースに現代の「認知脳科学」の現状を理解する。「認識」「感性」「行動」「意欲」等の脳内原理を理解し、その上で、「こころ」がどう生まれ、成長し、そしてやがて、崩れるのか、自分の視点で考えられるようにする。脳神経学、精神医学への橋渡しとする。	金曜日1校時	視聴覚室 またはゼミナール室	出席、発表内容、質疑応答、レポート
7 解剖学第二	3年次前期・4年次前期	人体解剖実習をもう一度	弦本敏行	臨床科目等の他の科目との連携を意識しながら肉眼解剖学実習を再体験する	2年学生の人体解剖実習にティーチングアシスタントとして参加し、自らの知識を再確認する	金曜日5校時	解剖実習室	出席、レポート、質疑応答
8 解剖学第三	3年前期	細胞死研究の最前線	小路武彦	細胞死(アポトーシス)研究について基礎から最新トピックスまでを俯瞰し、細胞死(アポトーシス)の人為制御、病態解析さらには様々な病気に対する治療戦略について議論し知識を深めることを目的とする。	細胞死(アポトーシス)の基礎知識を学んだ後に、関連するテーマごとに設定した論文を選択してもらい内容をプレゼンテーションしていただく。最新の研究にふれた科学的アプローチの一端を学ぶ。必要に応じて、教育により適宜内容補説を行いながら討論を進める。	金曜日1校時	医科学基礎研究棟2F小会議室	講演内容と議論への参加態度並びに出席にて判定
9 神経機能学教室	3年前期	コミュニケーションの脳科学	篠原一之	英語論文、原著論文を通して、対人コミュニケーションにおける非言語的コミュニケーション情報(視覚、聴覚、嗅覚、触覚)の重要性と、非言語的コミュニケーション情報処理を司る脳内基盤について理解を深める。	非言語的コミュニケーション情報処理の脳内基盤に関する英文資料を読み、その内容を発表することを通して、英文読解能力・プレゼンテーション能力を養う。また、脳機能計測の実習を通して、脳機能研究に用いられる研究技法について理解を深める。	金曜日1校時	医科学基礎研究等1Fセミナー室	出席、レポート、発表資料を総合的に評価
10 感染分子解析学	2・3・4年前期	薬害ヤコブ病の本質を探る	西田教行 佐藤克也	本邦へ発生した薬害感染症の一つである薬害ヤコブ病(横濱移植後クロイツフェルトヤコブ病)について能動的に学ぶ。学生自身で学習テーマ・研究テーマを設定し、発表とグループ・ディスカッションをしながら、問題の本質を考える。	チュートリアル方式にて指導。毎週各自が設定した学習テーマについて文献的に調べてきた内容を発表する。全員で議論を重ねながら問題点を掘り下げていく。英文の原著論文で読解が難しいものはゼミの時間を使って読むこともある。学習セルフポートレートと最終レポートを提出してもらい、評価する。	金曜日1校時	感染分子解析学教室 集會室	口頭発表内容、セルフポートレート、レポート
11 病理部	3年次前期(ただし、2名まで。引き続きリサーチセミナーを受講希望の者が望ましい。)	診断病理医としての病理のあり方を学ぶ	林 徳真吉	臨床医と共に診療を行う病理診断医としての病理を学ぶ。提出された外科臓器の取り扱い、デジタル写真撮影技術、組織切り出し、診断書の作成および学会・研究会発表資料の作成などを体験する。臨床研修医ローテーションに準じた訓練を行う。	臓器切り出し 肉眼観察写真撮影 興味臓器/疾患に対する病理組織診断の訓練 病理診断書作製 顕微鏡写真撮影 カンファレンスのプレゼンテーション見学(リサーチでは実際には発表)。病理解剖の見学および解剖例のまとめ(症例あれば)	金曜日1校時に確保していますが、他の時間帯(5校時以降、週末など)に行うことも可。	病院病理部	出席状況と態度で総合判断します。
12 感染防御	3年前期	英語論文から感染防御の仕組みを学ぶ	林 日出喜	一流雑誌の論文から、研究の背景を理解し、研究の進め方、発展のさせ方を学ぶ。	インターフェロンの作用を記述した論文数編を全員で読み、内容を発表、討論することによって理解を深める。その研究の背景から、ここでは何を明らかにしたか理解すると同時に、その際用いられた実験手法の原理も理解できるようにしたい。	金曜日1校時	基礎棟1階セミナー室	発表、討論に参加する姿勢、内容の理解度と、学期終了後に提出してもらったレポートを参考に、総合評価する。
13 腫瘍外科	2後期・3・4年前後期	サッカー医学概論	安武 亨	スポーツを通じて医学を学ぶ。	運動に関連した解剖学・生化学・生理学・栄養学・スポーツ傷害・運動生理学などを楽しく学ぶ。	前期水曜日5校時、後期火曜日5校時	医学部講義棟ゼミ室	出席、レポートなど
14 医師育成キャリア支援室	2・3・4年前期	プロフェッショナルリズム&キャリアの軌跡	浜田久之	SMAP方式を通してプロフェッショナリズムを考える。将来プロフェッショナルである医師職に就くために、プロとは何かをお互いに語り(Speak)、自分で体を動かして(Move)、先輩方の意見を聞き(Active listening)、積極的に学ぶ(Positive learning)。	「予定内容」①プロフェッショナリズム等考えるワーク ショップ(Speak)、②シミュレーション教材を使用した「Move」③先輩医師がどういう軌跡をたどってきたかを聞く(Active listening)④看護師や他の医療職、DVDから聞くプロフェッショナル⑤自分がどういふプロになるべきかを学び(Active learning)発表する。⑥コース参加資格⑦早起きができ、講義形式ではないワークショップに積極的に参加できる人⑧自分のキャリアを真剣に考える。	原則 金曜日7時50分～9時20分	大学病院3階シミュレーション室(医師育成キャリア支援室)	SMAP(speak, move, active listening, positive learning)の総合評価。
15 生化学	2年・3年・4年前後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教員が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当期になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など
16 生化学	1～6年前後期	医学英語(定員20名。AO入試国際校生を優先する。)	伊藤 敬 小笠原信博	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤りによる、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、さらに演習的要素も取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けるように訓練するとともに、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練も併せて行う。また、この目的にそった英語課題を出す。実際自分で英文を書くことによって、学生は英語の表現能力を高めてほしい。	火曜日5校時	第1講義室	テストレポート、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。
17 原研・熱研	1年、2年、3年前期(AO国際)	原研・熱研における国際保健活動の紹介	山下俊一 有吉紅也	AO国際枠で入学した学生を中心に、世界を目指す医師・医学者を養成する目的で、原研・熱研における活動、特に国際保健分野における活動、を紹介する。勿論、一般入試での学生も歓迎する。	原研・熱研各分野の教員が、それぞれの分野の背景・活動内容を平易に説明・紹介する。あわせて関連の英文資料を添読することで国際保健、国際医療の実態についてより深い理解を得る。	月曜日5校時	コミュニケーションセンター・熱帯医学研究所小会議室	出席、授業態度、レポート
18 離島へ行き地域医療学	2年後期・3年前期・AO地域枠が主、地域枠以外の学生も可	しまで学ぶ地域医療	前田隆浩	離島における地域医療の現場を見て、地域における保健・医療・福祉の役割と機能、そして地域包括医療についての基礎を理解する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場に滞在し(原則2泊3日)、地域医療関連施設において見学あるいは体験実習を行った上で、地域医療と地域包括ケアについての討論を行う。	受講生と相談し、長期休暇を利用して開講日を決定する。	長崎県離島をはじめとした地域医療の現場	出席、発表、レポート

「医学ゼミ」平成22年度開講テーマ一覧(4年次)

(4年次前期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内 容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
1 免疫機能制御学	2・3・4年前期	論文から学ぶ免疫学	田村 隆彦	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。3、4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。 論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室 集会室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
2 精神科神経科	2・3・4年前後期	「映画から見る精神医学」	小澤 寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通して、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通して、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論する	映画を観賞する都合上、4-5時間目(水曜日17:00以降)を利用し、授業回数を8回とします。(日程は講義初日に学生と協議のうえ決定)5校時目以降に他の科目を受講する方はご留意ください。	長崎大学病院 精神神経科カフフランソワ	レポート50%、及びディスカッションへの参加状況50%
3 公衆衛生	2・3・4年前期	論文から学ぶ公衆衛生学	青柳 潔	文献を通して医学の社会性について学ぶ	公衆衛生学に関連した論文を各自が紹介・発表し、討論する。	金曜日1校時	公衆衛生学 学芸室	積極性、レポート
4 泌尿器科	2・3・4年前期	ビデオとマンガから学ぶ「泌尿器科ってなんだ？」	井川 肇	本ゼミを泌尿器科学入門と位置づけ、身近な問題から泌尿器科学の領域と特徴を理解する。	泌尿生殖器の解剖、機能および疾患の特徴を系統的に捉えられるように、ビデオ画像やマンガ等のメディアを用いた講義を行う。	金曜日1校時	第一臨床研究棟7階泌尿器科医局	討論への参加度と小テスト
5 消化器内科	3・4年前後期	難治性C型慢性肝炎の治療とその結果予測	市川辰樹	C型慢性肝炎の治療予測と副作用を当科通院例から学ぶ	電子カルテを使った症例検討	水曜日午後5時	消化器内科カフソファ	毎回の意見内容を総合的に評価する
6 消化器内科	4年前期	GUT CLUB	竹島史直	様々な腸疾患の臨床をより深く学習する。	入院、外来の症例検討を行うことで腸疾患に対する興味を喚起するとともに、それに関する最新の英文臨床研究やUp to Dateの抄読会を通じて理解を深める。	金曜日17時～18時	消化器内科医局	出席や発表内容より総合的に評価
7 感染分子解析学	2・3・4年前期	素養ヤコブ病の本質を探る	西田 健行 佐藤 克也	本邦へ発生した薬害感染症の一つである素養ヤコブ病(硬膜移植後クロイツフェルトヤコブ病)について能動的に学ぶ。学生自身で学習テーマ・研究テーマを設定し、発表とグループ・ディスカッションを進めながら、問題の本質を考える。	チュートリアル方式にて指導。毎週各自が設定した学習テーマについて文献的に調べた内容を発表する。全員で議論を重ねるに問題点を掘り下げていく。英文の原著論文で読解が難しいものはゼミの時間を使って読むこともある。学習セルフポートレートと最終レポートを提出してもらい、評価する。	金曜日1校時	感染分子解析学教室 集会室	口頭発表内容、セルフポートレート、レポート
8 腫瘍外科	2後期・3・4年前後期	サッカー医学概論	安武 亨	スポーツを通して医学を学ぶ。	運動と関連した解剖学・生化学・生理学・栄養学・スポーツ傷害・運動生理学などを楽しく学ぶ。	前期水曜日5校時、後期火曜日5校時	医学部講義棟ゼミ室	出席、レポートなど
9 解剖学第2	3年前期・4年前期	人体解剖実習をもう一度	弦本 敏行	臨床科目等の他の科目との連携を意識しながら肉眼解剖学実習を再体験する	2年学生の人体解剖実習にティーチングアシスタントとして参加し、自らの知識を再確認する	金曜日5校時	解剖実習室	出席、レポート、質疑応答
10 医師育成キャリア支援室	2・3・4年前期	プロフェッショナルISM&キャリアの軌跡	浜田 久之	SMAP方式を通してプロフェッショナリズムを考える。将来プロフェッショナルである医師職に就くために、プロとは何かをお互いに語り(Speak)、自分で体を動かして(Move)、先輩方の意見を聞き(Active listening)、積極的に学ぶ(Positive learning)。	「予定内容」①プロフェッショナリズム等考えるワークショップ(Speak)、シミュレーション教材を使用した(Move)②先輩医師がどういった経験をたどってきたかを聞く(Active listening)③看護師や他の医療職、DVDから聞くプロフェッショナリズム④自分がどういったプロになるべきかを学ぶ(Active learning)発表する。「コース参加資格」①早起きができる、講義形式ではないワークショップに能動的に参加できる人②自分のキャリアを真剣に考える。	原則 金曜日7時50分～9時20分	大学病院内3階シミュレーション室(医師育成キャリア支援室横)	SMAP(speak, move, active listening, positive learning)の総合評価。
11 生化学	2年・3年・4年前後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室カフフランソワ	出席、発表内容など
12 生化学	1～6年前後期	医学英語(定員20名、AO入試国際枠学生を優先する。)	伊藤 敬 小笠原 信司	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読と精読のバランスを意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤り(他、コロケーション(連語)の違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、さらに演習的要素も取り入れ、日本語を英語らしい表現で書けるように訓練するとともに、リスニング、及び、スピーキングの訓練も併せて行う。また、この目的にそった英訳課題を出す。実際自分で英文を書くことによって、学生は英語の表現能力を高めてほしい。	火曜日5校時	第1講義室	テストとレポート、授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。

(4年次後期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内 容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法
13 免疫機能制御学	2・4年後期	論文から学ぶ免疫学	由井 克之	重要な原著論文に触れることにより、免疫学の方法論とその根拠にあるアイデアに対する理解を深め、問題解決能力を滋養する。「免疫学」の授業を履修した4年生を主な対象とするが、意欲ある2年生も歓迎する。	免疫学関連の主要な論文(英文)の抄読会を行う。学生があらかじめ自学した論文の内容を紹介し、それについて全員で議論し、理解を深める。 論文の選択、読み方などは適宜指導する。	金曜日1校時	医動物学教室 集会室	発表内容、レポート、討論への参加度、出席
14 へき地病院再生支援・教育機構	4年後期	長崎の離島・へき地医療を考える	調 漸	長崎の離島やへき地医療の現状を知ると共に、将来について考える	離島・へき地で活躍している医療人を講師として招きセミナーを開催。それに基づいた討論を中心とする。さらに興味ある分野について調べたことを、最終日にプレゼンテーションさせる。	毎週金曜日 午後5時30分～午後7時 (90分間)	医学部基礎棟 視覚聴覚セミナー室	出席、レポート、発表会
15 消化器内科	4年後期	臨床実地問題から学ぶ消化器病学	中尾 一彦	国家試験、卒業試験問題の演習を行い消化器疾患に対する理解を深める	国家試験、卒業試験問題の演習を通して病態の把握が不十分な点について解説する。実際の内視鏡、各種画像を数多く見せ、診断のポイントを解説する。	金曜日17時～18時	新病棟7階カフソファ	総合評価
16 消化器内科	3・4年前後期	難治性C型慢性肝炎の治療とその結果予測	市川辰樹	C型慢性肝炎の治療予測と副作用を当科通院例から学ぶ	電子カルテを使った症例検討	水曜日午後5時	消化器内科カフソファ	毎回の意見内容を総合的に評価する
17 第二内科	4年後期	内科診療実践編	松瀬厚人	教科書を読むだけではわからない、内科臨床医に求められる実践的な判断力、手技を身につける。	模擬病歴、実際の画像、シミュレーターなどを用いて実践的な内科の知識と手技の習得を目指す。	金曜日1校時	病棟12階カフソファ集会室。必要に応じてシミュレーションセンターへ移動。	出席状況、レポート、討論への参加具合の評価

「医学ゼミ」平成22年度開講テーマ一覧(4年次)

(4年次後期)

講座名	対象学年・開講時期	ゼミテーマ	責任者	目的・方針	内 容	開講時間帯	授業を行う場所	評価方法	
18 精神科神経科	2・3・4年前後期	「映画から見る精神医学」	小澤寛樹	具体的にイメージしにくい精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論することを目的とする。	精神医学の様々な現象、症状、問題に関して映画・テレビなどの映像表現を通じて、人の心に対する理解を深め、自己の考え・感情を論理的・能動的に議論する	映画を観賞する都合上、4・5時間目(水曜日17:00以降)を利用し、授業回数を8回とします。(日程は講義初日に学生と協議のうえ決定)5校時目以降に他の科目を受講する方はご留意ください。	長崎大学病院 精神神経科7F フラシールーム	レポート50%、及びディスカッションへの参加状況50%	
19 探索病理学	4年後期	楽しい病理学	下川 功	剖検例の解析を通じた、病理学の知識の応用と整理	すでに作成された剖検報告書を参考に、臨床病歴、剖検所見、最終診断をまとめ、発表する。Power Pointを用いて症例を提示するトレーニング、5年次に行なう総合病理CPCの簡易版として行なう。1グループ2~3名で1症例を提示する。	症例発表:金曜日8:30~9:00。担当グループは、これ以外に発表準備のため、自主学習が3~4時間必要である。	探索病理学(病理1)図書室	症例の発表内容、討論への参加状況	
20 法医学	4年後期	異状死とは? 死者からの伝言	中国一郎	当教室で検視・解剖した症例について死因の解明や事例の背景などを検討し、異状死(突然死)について医療人としての理解を深めてもらう。	各症例の事件発生即報告書、死体検案書、解剖検査記録などを参考に最終的に症例報告としてまとめる。	金曜日5校時	基礎棟6階法医学教室大学院セミナー室	総合的に評価する	
21 第一内科	4年後期	臨床演習問題から学ぶ神経内科学、内分泌・代謝学、リウマチ膠原病学	辻野 彰	臨床に対する興味・理解を深める。	臨床演習問題を通して、その診断や治療に対する考え方を解説する。	木曜日の午後5時以降	未定	出席および授業態度	
22 第二外科	4年後期	M&Mカンファレンス	江口 晋	臨床症例を通して、少人数制の、双方向性の検討を行う機会を持つ。系統講義では体験できないような深く掘り下げた議論を行なう。	問題症例などを提示し、反省点を浮き彫りにし、今後の診療に生かす	土曜日のAM8:30より	第二外科 医局カンファレンス室	総合的に評価する。	
23 第2病理	4年後期	電顕から腎臓病を学ぼう	田口 尚	腎臓病の電子顕微鏡写真を実際に観察することにより、細胞や組織の微細構造を理解し、病変の意義について考える機会を与える。	腎臓病症例の電顕像を、臨床像、光顕像そして免疫染色の結果と対比しながら、診断過程や病変の意義を学び、討論する。	木曜日5校時以降	第2病理所見室	総合的に判断	
24 循環器内科	4年後期	心電図道場—実地から学ぶ心電図判読	前村浩二	基本的な心電図の判読ができるようになることをめざす。	講義で学んだけでは、心電図判読に苦手意識を持っている学生が多い。心電図判読のコツは最初に心電図判読の作法を理解した上で、多くの症例の心電図を自分で読んでみることである。本ゼミナーでは、さまざまな症例の心電図を自分で実際に読んでもらい、それを添削しながら判読のコツをつかんでもらう。本ゼミナーを通じて基本的な心電図所見を楽しく読めるようにする。	金曜日5校時(場合により金曜日1校時)	循環器内科医局	出席率、討論参加度	
25 腫瘍外科	2後期・3・4年前後期	サッカー—医学概論	安武 亨	スポーツを通じて医学を学ぶ。	運動と関連した解剖学・生化学・生理学・栄養学・スポーツ傷害・運動生理学などを楽しく学ぶ。	前期水曜日5校時、後期火曜日5校時	医学部講義棟ゼミ室	出席、レポートなど	
26 解剖学第2	2年後期・4年後期	臨床解剖学への招待	張本敏行	各臓器の病態生理の肉眼解剖学的側面を掘り下げ、その理解を深める	さまざまな臓器に生じる各種の疾患を提示し、それらの発症メカニズムの肉眼解剖学的背景について考察する	金曜日1校時	視聴覚室No.1	出席、レポート、質疑応答	
27 生化学	2年・3年・4年前後期	「論文から学ぶ生化学」	伊藤 敬	学習意欲のある2年生を対象にした生化学への入門科目である。生化学に関連する論文を読み、英語力を養うとともに生化学的な研究を理解し発表する力を養う。	教官が毎回最近の生化学に関する論文を紹介しその内容を理解し質疑応答をする。加えて当番になった学生は、あらかじめ自学した論文を紹介しその内容について全員で議論し、理解を深める。	日曜日午前10時	医学部基礎棟6階生化学教室カンファレンス室	出席、発表内容など	
28 生化学	1~6年前後期	医学英語(定員20名、AO入試国際校学生を優先する。)	伊藤 敬 西原俊明	国際的な場における医療現場で活躍できる英語力を養う。医療現場に必要な語句の理解を深めるとともに医療に関わるトピックを精選し、その理解を深める。題材に関しては、医療関連の雑誌や新聞記事から精選し、速読を意識した授業を行う。また、日本語と英語の表現方法の違いを学習する。特に学生が犯しやすい誤りとして、文法的な誤り、コロケーション(連語)の間違いや日英発想の違いによる誤り等も視野に入れて講義を行う。 この授業を通して、英語の論の展開の仕方、さらには、英語を母語とする話者の直感に触れることで、英語の知識を深めていただきたい。	授業では、演習的要素も取り入れ、リスニング、及び、スピーキングスキルの訓練を行う。また、医学に関わる英文記事を読み、短時間にとまめて英語で発表する訓練を併せて行う。	火曜日5校時	第1講義室	アブドゥル課題・授業中のアクティビティ、出席、プレゼンテーション等を総合的に評価する。テスト(70%)、課題・プレゼンテーション(20%)、授業への積極的参加(10%)	
【医学センターの内訳】	29 医育支援センター	以下参照	臨床カンファレンス	桑原宏永 岡崎真巳 宇賀達也 福島千鶴 安武亨	臨床カンファレンスへの出席という形で臨床に触れ、学年に応じた自分の学習に生かす	診療科で実施されているカンファレンスに出席する。そこで得たものを元に、自己学習を加えて、レポートを作成する。5回のカンファレンスに出席し、5つのレポートを作成する。	別に示す診療科のカンファレンスより1つ選択する。基本的には同一科のカンファレンスに5回出席するものとする。	別に示す	出席態度およびレポート(参加したカンファレンスの科にかかわらず、レポートは医育支援センターに提出する。)
	第2内科	2・4年後期	呼吸器カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示と問題点・今後の方針等に関する討論	毎週木曜日17時から	12階西カンファレンス室		
	第2内科	2・4年後期	腎臓カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示と問題点・今後の方針等に関する討論	毎週木曜日16時30分から	13階東カンファレンス室		
	消化器内科	4年後期	消化器内科カンファレンス		抄読会	毎週月曜日18時30分から	7階カンファレンス室		
	第1内科	2・4年後期	脳卒中カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示	毎週月曜日17時30分から	9階カンファレンス室		
	第1内科	2・4年後期	リウマチ膠原病カンファレンス		入院中の患者さんの症例提示	毎週水曜日17時から	12階東カンファレンス室		
	第1内科	2・4年後期	臨床抄読会		神経内科、リウマチ膠原病内科、内分泌代謝内科に関連した臨床論文2編を紹介。現在入院中の症例に関する最新知見を共有する。	毎週金曜日7時45分から	12階カンファレンス室		
	第2外科	2・4年後期	M & Mカンファレンス		各診療科が問題症例などを提示し、反省点などを検討し、今後の診療に生かす	毎週土曜日8時30分から	第2外科医局(第一臨床研究棟)		
第1外科	2・4年後期	術前・術後カンファレンス		手術予定及び術後の患者さんの症例提示と討論	毎週木曜日17時から	第1外科医局(第一臨床研究棟)			

リサーチセミナー

責任者	氏名	伊藤 敬	内線	7037
	教室	生化学	e-mail	tito@nagasaki-u.ac.jp
	オフィス	金曜日午後1時～午後5時		

対象年次・学期	3年・後期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	9（学士編入学生は8単位）
英語名	Research Seminar		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

基礎系教室で終日研究活動に従事する。この講義では、研究活動を実践する過程で基礎医学系教員とのマンツーマンの触れ合いを通じて親近度を深めながら、科学的好奇心を喚起して科学的創造性を育成し、同時に具体的な実践を通じて「医学」が「科学」としていかに開発されるかというプロセスを理解する事が主たる目的である。

2. 期間

平成22年12月9日（木）から平成23年2月17日（木）
研究報告書提出は学務係へ（〆切り2月17日）

3. 研究テーマの選択方法

- 各教室から研究テーマ、そのテーマを指導する責任教官名とそのテーマに従事する学生数（1つのテーマに複数の学生が付いても良い）が公示される。
- 各学生は希望する教室とテーマを1つ選択して提出する。
- この時点で学生自身がテーマを提案してもよい。その場合にはそのテーマについて指導することを承諾する講座を必要とする。
- 各研究テーマの定員を超過した場合には、学生間の抽選により決定する。
- 抽選にもれた学生は、定員に満たないテーマの中から、テーマを1つ選択して提出する。
- 全学生が何れかのテーマに属するまで上記4. と5. の操作を繰り返す。

4. リサーチセミナー履修の認定の条件

- リサーチセミナー開始時にオリエンテーション（総合オリエンテーション、実験動物についての講義）に出席していること、必要な動物実験施設やアイソトープ実験施設の使用に関する説明会に出席していること。
- 研究活動に200時間以上に従事していること。
- 研究報告書（A4のフォーマットを準備）を学務係へ提出すること。（〆切り2月17日）
（ワープロまたはボールペン書きのものに限る。鉛筆書きは不可）
- 実際の研究記録は配属教室の指導責任者に提出すること。配属教室ではリサーチセミナー終了時に発表会を開き、研究記録とともに評価をしてもらう。指導教官はこの評価をリサーチセミナー責任者に提出する。（〆切り2月17日）
- リサーチセミナー合同発表会（平成23年5月予定）に出席し、発表・討論を行うこと。

5. 指導講座等

医学部及び熱帯医学研究所・先導生命科学研究支援センターの基礎系講座。

6. 成績評価の方法・基準

研究報告書・担当教官の評価・発表会の評価から総合的に評価する。

臨床実習

責任者	氏名	上谷 雅孝	内線	7355
	教室	放射線医学	e-mail	uetani@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	金曜日午前10時～12時		

対象年次・学期	5年・前期、後期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	42単位
英語名	Clinical Clerkship I (Core clerkship rotation)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

臨床の現場を実際に体験し、これまでに学んできた基礎医学、社会医学および臨床医学の基本的知識を再構築して応用し、患者が抱えている問題を解決する能力を身につける。目標は、①受持ち患者の情報を収集し、診断して治療計画を立てる。②受持ち患者の基本的な身体診察ができる。③基本的手技を学ぶ。である。更に、患者を全人格としてとらえ、対応する能力、医療を支える他職種への役割の理解と協力の重要性をも学びとる。

以下の診療科をローテートする。

第1内科、整形外科・形成外科、循環器内科・心臓血管外科、第1外科、原研内科・脳神経外科、眼科・麻酔科、第2内科、皮膚科・泌尿器科、小児科、放射線科・耳鼻咽喉科、臨床検査医学・熱研内科、第2外科、精神神経科・産科婦人科、消化器内科、総合病理学・総合診療科・社会医学

2. 授業内容（講義・実習項目）

診療科により異なる。臨床実習要項を参照。

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各科で、出席状況、実習状況等を総合的に評価する。Advanced OSCEの成績は臨床実習の成績の一部となる。

5. 教員名

臨床実習要項を参照。

離島医療・保健実習にあたって

【はじめに】

本土とは違った疾病構造と地理的特性を有している離島においては、地域に強く密着した保健・医療体制と独自の広域医療ネットワークが構築されており、地域保健、地域医療を学ぶにあたっては最適のモデルと言える。本実習では、保健と医療の両面から保健・福祉・医療にわたる一連の包括的地域保健・医療についての実習を行い、各部門の役割を理解することと、保健・福祉・医療の密接な連携や病診連携の実際について理解を深めることを目的とする。

【基本事項】

1. 実習期間 臨床実習の「総合病理学・総合診療科・社会医学」セッションの中、第6(月)～10日(金)の5日間で離島医療・保健実習を行う。

2. 実習内容・方法

- ・ 上五島コース、下五島コース、対馬コースに分かれて実施する。
- ・ 原則5日間(月～金)の離島医療・地域保健実習を行う。
- ・ 下五島コースでは2班に分かれ、それぞれが離島医療実習と地域保健実習にあたるが、実習の前半と後半で内容を交代する。

3. 実習施設

	実習施設名	施設長名
上五島コース	長崎県上五島病院	八坂 貴宏
	小値賀町国民健康保険診療所	大住元 秀明
	長崎上五島保健所	後藤 尚
	地域活動所 いろえんぴつの家	原 節子
	新上五島町健康保険課	富永 重利
	新上五島町社会福祉協議会	森藤 敏幸
下五島コース	長崎県五島中央病院	神田 哲郎
	長崎県富江病院	津野 至孝
	長崎県奈留病院	津田 俊彦
	医療法人山内診療所	宮崎 昭行
	五島市国民健康保険三井楽診療所	松園 和久
	五島市国民健康保険玉之浦診療所	山下 貴知男
	長崎県五島保健所	後藤 尚
	地域生活支援センター ゆうなぎ	入江 善充
	五島市健康政策課	吉谷 清光
	五島市長寿介護課	谷川 與喜男
	小規模通所授産施設 ふれあい	堀 善秀

	五島市社会福祉協議会	野原 寅男
対馬コース	長崎県対馬いづはら病院	糸瀬 薫
	長崎県中対馬病院	村瀬 邦彦
	豊玉診療所	升木 行雄
	長崎県対馬保健所	緒方 敬子
	地域活動支援センター きらり	築城 洋二
	対馬市福祉保健部 健康保健課	仁位 孝良
	幸生会 特別養護老人ホームわたづみ	津屋 秀則
	あすか福祉会 あすか訪問看護ステーション	横尾 恒夫

4. 実習スケジュール

1)上五島コース

- * 木曜日：朝までに宿舍の掃除を終え鍵を返却し、すべての荷物を持って実習に望む。
午前中に上五島病院訪問看護ステーションで実習を行った後、野母商船「太古」（12:30 青方港発→13:30 小値賀港着）で青方から小値賀へ移動する。
- * 金曜日：小値賀町診療所の実習が終了後の移動については、原則的に午後のフェリーなるしお（14:00 小値賀港発→16:35 佐世保港着）で佐世保へ移動し、その後バスで長崎へ移動する。小値賀へ延泊を希望する場合は、事前に離島医療研究所か上五島実習担当渡辺まで連絡する。
- * 土曜日（延泊時のオプション）：太古丸（小値賀港 5:00 発→青方港 6:00 着）に乗船し、以下のオプションを利用する。延泊して下記①～③のオプション選択時は、実習開始日の月曜日に八坂病院長と実習担当 渡辺まで伝達すること。
 - ①朝から長崎へ移動
 - ②社会見学（観光）後（上五島病院車利用応談可）、午後から長崎へ移動
 - ③上五島病院の救急外来あるいは入院患者診療実習後、午後から長崎へ移動

上五島コース A：(O, o)、(M, m)、(K, k)、(I, i)、(G, g)、(E, e)、(C, c)、(A, a) グループ

		月	火	水	木	金
午前	実習施設	上五島病院	上五島保健所	新上五島町 社会福祉協議会	上五島病院 訪問看護ステーション	小値賀町診療所
	集合時間	午前 8 時 00 分	午前 9 時 00 分	午前 8 時 15 分	午前 8 時 30 分	午前 8 時 15 分
	集合場所	医局談話室	保健所 1 階玄関受付	新上五島町 総合福祉センター 2 階	上五島病院 訪問看護ステーション	医 局
午後	実習施設	上五島病院	新上五島町健康保険課	新上五島町 社会福祉協議会	小値賀町診療所	小値賀町診療所
	集合時間	午後 1 時 00 分	午後 1 時 00 分	指示に従う	午後 1 時 30 分	指示に従う
	集合場所	大会議室	新上五島町健康保険課	指示に従う	小値賀港	指示に従う
宿 泊		上五島病院仮眠室	上五島病院仮眠室	上五島病院仮眠室	小値賀町診療所宿直室	上五島病院仮眠室

上五島コース B：(P, p)、(N, n)、(L, l)、(J, j)、(H, h)、(F, f)、(D, d)、(B, b) グループ

		月	火	水	木	金
午前	実習施設	上五島病院	新上五島町 社会福祉協議会	上五島保健所	上五島病院 訪問看護ステーション	小値賀町診療所
	集合時間	午前 8 時 00 分	午前 8 時 15 分	午前 9 時 00 分	午前 8 時 30 分	午前 8 時 15 分
	集合場所	医局談話室	新上五島町 総合福祉センター 2 階	保健所 1 階玄関受付	上五島病院 訪問看護ステーション	医 局
午後	実習施設	上五島病院	新上五島町 社会福祉協議会	新上五島町健康保険課	小値賀町診療所	小値賀町診療所
	集合時間	午後 1 時 00 分	指示に従う	午後 1 時 00 分	午後 1 時 30 分	指示に従う
	集合場所	大会議室	指示に従う	新上五島町健康保険課	小値賀港	指示に従う
宿 泊		上五島病院仮眠室	上五島病院仮眠室	上五島病院仮眠室	小値賀町診療所宿直室	上五島病院仮眠室

2)下五島コース

「平成 21 年度 グループ編制と実習スケジュール」を参照

集合時間や送迎計画は、各グループが五島を訪問する前週に配布する。

3)対馬コース

- * 対馬島内の移動に関しては【交通・食事】の「島内移動、小離島への移動」を参照のこと。
- * 特に対馬コースでの移動は職員の移動と連動しているため、原則集合時間の5分前には集合しておくこと。
- * (E, e)、(C, c)、(B, b) グループは、火曜日の特養わたづみの実習後は、ビジネスホテルつたやに宿泊するため、一泊分の宿泊のための準備をする。

対馬コース：(K, k)、(J, j)、(H, h)、(E, e)、(C, c)、(B, b) グループ

午前	実習施設	対馬いづはら病院	豊玉診療所	あすか訪問看護ステーション	中対馬病院	対馬保健所
	責任者	糸瀬薫 病院長	升木行雄 所長	横尾恒夫 施設長	村瀬邦彦 病院長	緒方敬子 所長
	担当者	川上眞寿弘 副病院長	升木行雄 所長	川上敬子 看護師	村瀬邦彦 病院長	松本公子 主任技師
	集合時間	午前8時00分	午前7時30分	午前8時30分	午前7時30分	午前9時00分
	集合場所	対馬いづはら病院 病院長室	対馬いづはら病院 玄関	つしま彩光園事務室	対馬いづはら病院 玄関	対馬保健所
午後	実習施設	対馬いづはら病院	特養わたづみ	あすか訪問看護ステーション	中対馬病院	移動・自由
	責任者	糸瀬薫 病院長	津屋秀則 施設長	横尾恒夫 施設長	村瀬邦彦 病院長	
	担当者	川上眞寿弘 副病院長	梅野恵子 生活相談員	川上敬子 看護師	村瀬邦彦 病院長	
	集合時間	指示に従う	午後1時00分	指示に従う	指示に従う	
	集合場所	指示に従う	特養わたづみ事務室	指示に従う	指示に従う	

午前	実習施設	対馬市福祉保健部	対馬市社会福祉協議会
	責任者	神宮昌次 課長	中島秀隆 事務局長
	担当者	須川紀子 保健師	龍井久美 保健師
	集合時間	午前9時00分	午前9時00分
	集合場所	対馬市役所保健部	豊玉町福祉センター 対馬市社会福祉協議会
午後	実習施設	対馬市福祉保健部	対馬市社会福祉協議会
	責任者	神宮昌次 課長	木寺和福 会長
	担当者	須川紀子 保健師	中島秀隆 事務局長
	集合時間	指示に従う	指示に従う
	集合場所	指示に従う	指示に従う

【目 標】

1. 一般的目標 General Instruction Object, GIO

- 1) 地域住民の健康や疾病と生活環境との関わりを理解し、健康に関わる問題を解決する考え方の基本を身に付ける。
- 2) 地域医療・地域保健実践の場で必要とされる知識、情報収集方法、マネジメント法についての基礎を身に付ける。
- 3) 保健・福祉・医療の役割を把握し、相互の連携についての理解を深める。
- 4) 地域住民の心理・社会的背景を正確に理解し、全人的医療実践の基本を身に付ける。
- 5) 地域保健・医療の中での役割を理解し、積極的な自己学習の基盤となる態度を身に付ける。

2. 個別行動目標 Specific Behavioral Object, SBO

- 1) 中核病院の先進医療とプライマリ・ケアを中心とした診療所での診療の両方を体験し、中核病院と診療所との密接な連携についての理解を深める。
- 2) tele-medicine を活用した診療支援システムを把握し、広域医療ネットワークでの離島救急医療についての理解を深める。
- 3) 診療所外での診療・介護を実際に体験することで、地域医療における在宅医療・介護支援の重要性を理解する。

【実習支援サーバー】

原則的に、全ての実習生（医学部・歯学部・薬学部・他大学学生）が使用する。実習に必要なお知らせが適宜掲載されるため、必ず実習直前にチェックしておく。また、プロフィール入力およびアンケート入力、レポート提出もこのサーバーで行う。

1. アクセス方法

- 1) <http://133.45.184.12/ritou/index.html>でアクセスするか、離島医療研究所ホームページ (<http://ritouken.net>)のメニューから離島医療実習支援サーバーをクリックしてアクセスする。
- 2) ID とパスワードを入力し、ログインする（ID とパスワードは事前に配布）
- 3) パスワードは各人で変更可能である。
- 4) 学生は自分以外の学生のプロフィールやレポートを閲覧する事はできない。

2. パスワードを紛失した場合

氏名、履修番号、メールアドレス、パスワード紛失の旨を明記し、zissyuu@ritouken.netまでメールして下さい。折り返し連絡します。

3. プロフィールの入力

- 1) プロフィールを入力する場合は、画面のメニューから「プロフィール登録」をクリック

クし、その後の画面の指示に従うこと。

- 2) 生年月日、出身高校、趣味、クラブ活動、e-mail address、アピールについては、必須の入力項目ではないが、実習担当者への自己紹介や連携のためにも入力することを勧めます。
- 3) 写真は必須項目のため、横 200×縦 300 ドット程度の JPEG 画像ファイルを参照のボタンをクリックして指定し、必ずアップロードを行うこと。
- 4) 長崎大学医学部医学科は、事前に撮影した顔写真をアップロードしてあるが、変更したい場合は各自で変更すること。

4. 実習前の活用

来島する前にサーバーの掲示板をチェックし、実習施設の指示があればそれに従うこと。
また、予め実習施設に関して予習しておくこと。

【提出物（レポート、アンケート）と提出方法】

1. レポート作成

- ・ 病院や診療所実習から作成した「医療実習レポート」と、保健や福祉そして行政の実習から作成した「保健・福祉実習レポート」を作成すること
- ・ 各々のレポートは 800 字以上、2,000 字以内でパソコンを用いて作成すること。
- ・ レポートは、下記例のように各実習施設、実習年月日、内容、感想について各々記載すること。
- ・ 各実習施設の間は一行空けること。

例)

五島中央病院

平成△年○月×日

内容：外来実習、シミュレーション実習・・・etc

感想：今回初めて離島の中核病院を見て・・・

玉之浦診療所

平成△年○月△日

内容：出張診療、往診

感想：へき地の診療には様々な工夫が・・・

2. レポート提出

- ・ レポートは、実習終了後 1 週間以内に実習支援サーバーに各自アップロードすること。

3 注意点（重要）

- ・ プロフィール及びレポートは、他の学生からは見ることが出来ない。指導教官のみが見ることが出来る。
- ・ サーバーでレポート登録の際（医学部・歯学部・他大学の場合）に、長時間同じページ

を表示していた場合や、一旦接続を切った場合、また不慮の回線切断、フリーズ等により、せっかく記入したレポートが消えてしまう場合がある。一度ワープロソフトなどで記載し保存した後に、コピー&ペーストでの登録が望ましい。

4. アンケート提出

実習前後でアンケート調査を行います。離島実習の充実・発展のために役立てておりますので、是非協力をお願いいたします。前のアンケートは総合診療科実習の際に配布し、総合診療科の実習が終了するまでに記入の上、総合診療科へ提出して下さい。後のアンケートは五島の実習先で配布します。各自記入の上、実習終了 1 週間以内に学務係へ提出して下さい。平成 21 年度より、実習前・実習後のどちらのアンケートも、実習サーバーでも提出できるようになりました。これまでどおり書類で提出しても、サーバーでオンライン提出しても、どちらでもかまいません。

【全体的留意事項】

1. 大学生として節度ある態度で実習に臨むこと。
2. はきはきと挨拶をすること。
3. 積極的に参加すること。
4. 時間を厳守すること。
5. 良好なコミュニケーションの構築に努めること。
6. 患者さんのプライバシーを尊重すること。
7. 華美・派手な容姿は控え、名札を付けた清潔な白衣を着用する。
8. 軽作業や軽い運動が出来る服装と靴を着用すること。
9. 実習施設内での携帯電話の使用と喫煙については、許可された場所を確認して行うこと。
10. 実習施設スタッフの仕事の妨げにならないように注意する。
11. 欠席や早退などについては、速やかに担当者へ連絡する。決して無断で欠席・早退してはならない。
12. その他、詳細については実習施設の指示に従うこと。

高次臨床実習

責任者	氏名	大園 恵幸	内線	7591
	教室	総合診療学	e-mail	oozono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	17:30～18:30		

対象年次・学期	6年・前期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	18単位
英語名	Clinical Clerkship II (Elective Clerkship courses)		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを主旨とする。5年次の臨床実習と比較し、より診療参加型の実習となる。

以下の診療科より3科を選択し、1ターム4週間の実習を3ターム行なう。

第1内科（神経、内分泌・代謝、リウマチ・膠原病）、第2内科（呼吸器、腎臓）、循環器内科、消化器内科、原研内科、熱研内科、総合診療科、離島・地域医療（五島中央病院・上五島病院、中対馬病院、対馬いずはら病院）、精神神経科、小児科、第1外科、第2外科、整形外科、皮膚科・アレルギー科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、産科婦人科、麻酔科、救急部、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、法医学、病理部、ライデン大学、ビュルツブルグ大学、プサン大学、ハーリム大学、市民病院、原爆病院、済生会病院

2. 授業内容（講義・実習項目）

選択科により異なる。高次臨床実習要項を参照。

3. 教科書、参考書等

適宜。

4. 成績評価の方法・基準

各タームで、出席状況、実習状況等を総合し、評価表に基づいて評価する。3ターム全ての合格を以て高次臨床実習の合格とする。

5. 教員名

高次臨床実習要項を参照。

●第4回 長崎家庭医療集中セミナー IN GOTO スケジュール

平成22年8月7日(土)

セミナースケジュール	
12:00	受付開始 ※場所:五島コンカナ王国内 出島ホール 会場入口にて、受付
13:00	オリエンテーション 1.開会・挨拶 2.セミナー趣旨・内容の説明 3.講師紹介 4.アイスブレーキング 前田 隆浩 先生 (長崎大学) 前田 隆浩 先生 (長崎大学) 前田 隆浩 先生 (長崎大学) 中里 未央 先生 (長崎大学)
13:45 S 14:15	講義 『家庭医療の理解 パート1』 森町家庭医療クリニック 佐野 潔 先生
14:15 S 14:45	講義 『家庭医療の理解 パート2』 ミシガン大学家庭医療科 Karl Rew 先生
写真撮影・休憩	
15:00 S 15:30	講義 『腹部エコー入門』 長崎大学 離島・へき地医療学講座 中里 未央 先生
15:30 S 16:10	実技練習 『腹部エコーの実際』 長崎総合科学大学 電気電子工学科 川添 薫 先生 長崎大学 離島・へき地医療学講座 前田 隆浩 先生 長崎大学 離島・へき地医療学講座 中里 未央 先生 長崎大学 離島・へき地医療学講座 関田 孝晴 先生 東芝メディカルシステムズ(株) 太田 宗平 先生 東芝メディカルシステムズ(株) 島野 俊彰 先生
16:10 S 16:40	自由時間・チェックイン
16:40 S 17:10	移 動 (コンカナ王国のバスにて移動)
17:10 S 20:00	浜辺のウエルカムパーティー 【司会】 佐野 潔 先生 中里 未央 先生 関田 孝晴 先生
20:00	移 動(コンカナ王国のバスにて移動)

平成22年8月8日(日)

セミナースケジュール	
7:00	朝食
8:30 S 9:00	講義 『アメリカ地域家庭医療(Rural Family Medicine)』 サウス・ダコタ大学 萩原 裕也 先生
9:00 S 9:30	講義 『よくある皮膚疾患の診方』 山本皮膚科医院 山本 憲嗣 先生
9:30 S 10:00	講義 『整形外科のプライマリ・ケア』 長崎大学病院 宮本 俊之 先生
休 憩	
10:10 S 10:40	講義 『風邪と漢方』 前川クリニック 前川 靖裕 先生
10:40 S 11:10	講義 『ガイドラインに基づくファーストエイド』 長崎大学病院 救急部 長谷 敦子 先生
11:10 S 11:40	講義 『急性腹症の診断と治療』 長崎県 上五島病院 八坂 貴宏 先生
11:40 S 12:40	昼食（休憩） ※コース選択調査表を回収いたします。
12:40	実技練習 【ローテート実習・前半】 12:40～13:15 ①超リアル！高機能シミュレーターを使った緊急対応 13:15～13:50 ②眼底鏡・耳鏡を使った診察 13:50～14:25 ③婦人科内診、乳房診察 担当教官 長谷 敦子、山下 和範、辻尾 慶太郎 門田 耕一郎、佐野 潔、萩原 裕也 太田宗平、島野俊彰、前田 隆浩、 中里 未央、関田 孝晴、古井 純一郎 橋本 敏章、川添 薫、八坂 貴宏、 永田 康浩、宮本 俊之、中村 伸一 平井 愛山、Karl Rew
14:25 S 14:50	講義 『糖尿病の診断と治療』 千葉県立東金病院 平井 愛山 先生
休 憩	
15:10	実技練習 【ローテート実習・後半】 15:10～15:45 ④腹部エコーの基本手技 15:45～16:20 ⑤基本的な外科手技 16:55 16:20～16:55 ⑥シーネ固定の実際と膝関節穿刺法 担当教官 長谷 敦子、山下 和範、辻尾 慶太郎 門田 耕一郎、佐野 潔、萩原 裕也 太田宗平、島野俊彰、前田 隆浩、 中里 未央、関田 孝晴、古井 純一郎 橋本 敏章、川添 薫、八坂 貴宏、 永田 康浩、宮本 俊之、中村 伸一 平井 愛山、Karl Rew
休 憩	
17:15 S 18:20	特別講演 『夢をもてば変えていける地域医療 ～プロフェッショナル仕事の流儀では語り尽くせなかった真実～』 名田庄診療所 中村 伸一 所長
18:30	移 動（懇親会会場 カウベル）
19:00 S	懇親会 ・司会 中里 未央 先生（長崎大学） ・挨拶 中尾 郁子 市長（五島市） ・乾杯 浦 繁 郎 会長（五島医師会） ・閉会の挨拶 前田 隆浩 先生（長崎大学）

セミナースケジュール																													
7:00	朝食 チェックアウト																												
8:20	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <h3>コース別スケジュール</h3> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 離島の病院・診療所見学コース </div> <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;"> 五島の病院を見てみたい方 におススメのコースです </div> </div> </div> <p>※8:20 コンカナ王国 ロビー前に集合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <table border="1" style="text-align: center; width: 150px;"> <tr><td colspan="2">五島コンカナ王国</td></tr> <tr><td>8:20 集合</td><td>8:30発</td></tr> </table> <div style="font-size: 24px;">→</div> <table border="1" style="text-align: center; width: 150px;"> <tr><td colspan="2">◎ 五島中央病院</td></tr> <tr><td>8:45着</td><td>9:45発</td></tr> </table> <div style="font-size: 24px;">→</div> <table border="1" style="text-align: center; width: 150px;"> <tr><td colspan="2">山内診療所</td></tr> <tr><td>10:05着</td><td>10:25発</td></tr> </table> </div> <div style="margin: 20px 0;">↓</div> <table border="1" style="text-align: center; width: 150px;"> <tr><td colspan="2">◎ 魚藍観音 高浜海ビーチ</td></tr> <tr><td>10:50着</td><td>11:30発</td></tr> </table> <div style="margin: 20px 0;">↓</div> <table border="1" style="text-align: center; width: 150px;"> <tr><td colspan="2">◎ 福江港</td></tr> <tr><td>12:05着</td><td>12:10発</td></tr> </table> <div style="margin: 20px 0;">←</div> <table border="1" style="text-align: center; width: 150px;"> <tr><td colspan="2">◎ 福江空港</td></tr> <tr><td>12:20着</td><td>12:25発</td></tr> </table> <div style="margin: 20px 0;">←</div> <table border="1" style="text-align: center; width: 150px;"> <tr><td colspan="2">◎ 五島コンカナ王国</td></tr> <tr><td colspan="2">12:30着 (解散)</td></tr> </table>	五島コンカナ王国		8:20 集合	8:30発	◎ 五島中央病院		8:45着	9:45発	山内診療所		10:05着	10:25発	◎ 魚藍観音 高浜海ビーチ		10:50着	11:30発	◎ 福江港		12:05着	12:10発	◎ 福江空港		12:20着	12:25発	◎ 五島コンカナ王国		12:30着 (解散)	
五島コンカナ王国																													
8:20 集合	8:30発																												
◎ 五島中央病院																													
8:45着	9:45発																												
山内診療所																													
10:05着	10:25発																												
◎ 魚藍観音 高浜海ビーチ																													
10:50着	11:30発																												
◎ 福江港																													
12:05着	12:10発																												
◎ 福江空港																													
12:20着	12:25発																												
◎ 五島コンカナ王国																													
12:30着 (解散)																													

※ 状況によりコース変更する
場合もあります

◎ ……この印は、
途中下車可能地点です。

平成23年度長崎県医学修学資金貸与制度のご案内

◎平成23年度から返還免除の要件が緩和されます。

長崎県では、大学医学部を卒業後に離島・へき地の医療に進んで従事しようとする方に修学資金を貸与しています。平成23年度からはより多くの方に利用いただけるよう、必要勤務期間を12年から9年（1年生から貸与を受けた場合）に短縮します。

◎制度の概要（平成23年4月以降）

- (1) 対象者 医学部入学生及び在學生
- (2) 募集時期・試験 長崎大学推薦入試Bについては、大学へ出願をする前（11月）に県の面接を実施します（その他の医学生は4～6月（入学後）、面接等を長崎市内で実施）。

(3) 貸与金額

医学修学資金で貸与されるものは、①入学料、②授業料、③専門課程での学習図書購入費（3年生から6年生まで）、④生活費（月額7万円以内）で、平成23年度入学者への貸与金額（例）については次のとおりです。

【貸与額】平成23年度入学者：6年間の貸与総額（予定） 9,336,800 円

単位：円	入学料	授業料	図書費	生活費	年間貸与額
1年生次	282,000	535,800	—	840,000	1,657,800
2年生次	—	535,800	—	840,000	1,375,800
3～6年生次	—	535,800	200,000	840,000	1,575,800

- (4) 貸与利率 年 14.5 %

(5) 返還免除について

卒業後、「履行すべき義務」を終えた場合に元金及び利息の返還を免除します。

(6) 履行すべき義務

貸与を受けた期間の1.5倍に相当する期間（うち、離島・へき地に2分の1以上の期間）、知事が指定する医療機関等（注1）への勤務が必要です。【下図：勤務例参照】

また、専門課程（概ね3年生以降）からの貸与者については、貸与を受けた期間の1倍に相当する期間（2年間の臨床研修期間は除き、離島・へき地勤務期間は別途知事が定める）、知事が指定する医療機関等への勤務が必要です。

※（注1）県、長崎県病院企業団（長崎県及び市町で構成する一部事務組合）または離島の市町立医療機関

勤務例		1年生から6年生まで貸与を受けた場合								
(臨床研修期間を含めて貸与年数の1.5倍が全体の義務年数、うち1/2が要離島勤務)										
勤務年次	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
勤務形態	臨床研修		定着医	再研修	定着医					
勤務地	(A)		離島	(A)	離島				(A)	
※(A)は知事が指定する医療機関等(研修期間は長崎医療センター等)										
										離島4年6月
										合計9年

(7) 在学中の離島地域等での研修

離島医療や地域医療への意欲向上や認識を深めるため、次のような離島地域等での研修を行います。

- 【夏期研修（サマワークショップ）】毎年8月、離島地区で宿泊研修を実施します。
- 【離島等病院見学】夏休み期間中に、長崎県病院企業団等の病院を見学（3年生から）。
- 【長崎県地域医療研究会】長崎県病院企業団の地域医療研究会等へ参加します。
- 【冬季研修（ウィンターミーティング）】先輩医師の講演や意見交換を行います。

(8) 卒業後の身分等

身分：長崎県病院企業団等の地方公務員（臨床研修時は非常勤職員）

研修：2年間の初期臨床研修期間のほかに、国立病院機構長崎医療センター等で最先端医療を学ぶための研修期間が設けられています。

お問い合わせ先

長崎県福祉保健部医療人材対策室

〒850-8570 長崎市江戸町2-13

電話 095-824-1111（代表）、095-895-2421（直通）

FAX 095-895-2573

E-mail s04045@pref.nagasaki.lg.jp

※平成22年度の貸与制度については下記のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.nagasaki.jp/iryuu/iryotaisei.htm>

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	カタミネ シゲル 片峰 茂 (平成20年10月)		医学 博士		長崎大学長 (平20. 10)

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
1	教授	モリノ 望		薬学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成16年6月1日)	人間生物学 医学ゼミ 神経・感覚器系 分子病態系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 2後 3前 3後	0.22 1.00 1.56 0.07 9.00	38.75	人間生物学 医学ゼミ 神経・感覚器系 分子病態系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 2後 3前 3後	0.22 1.00 1.56 0.07 9.00	38.75
2	教授	ツルモト 敏行		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成22年3月1日)	人間生物学 医学ゼミ 人体構造系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 1後・2前 3後	0.15 2.00 6.09 9.00	38.75	人間生物学 医学ゼミ 人体構造系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 1後・2前 3後	0.15 2.00 6.09 9.00	38.75
3	教授	コウジ 武彦		理学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	人間生物学 細胞生物学 医学は長崎から 医学ゼミ 発生・組織系 リサーチセミナー 生殖系	1前・後 1前 1前 1～4通 2後 3後 4前	0.44 0.20 0.04 1.00 1.96 9.00 0.06	38.75	人間生物学 細胞生物学 医学は長崎から 医学ゼミ 発生・組織系 リサーチセミナー 生殖系	1前・後 1前 1前 1～4通 2後 3後 4前	0.44 0.20 0.04 1.00 1.96 9.00 0.06	38.75
4	教授	マキタ 直昌		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年5月1日)	人間生物学 内臓機能・体液系 循環器系 リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナー	1前・後 2前・後 3後 3後 4～6通	0.15 1.21 0.14 9.00 1.53	38.75	人間生物学 内臓機能・体液系 循環器系 リサーチセミナー アドバンスリサーチセミナー	1前・後 2前・後 3後 3後 4～6通	0.15 1.21 0.14 9.00 1.53	38.75
5	教授	シノハラ 一之		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	人間生物学 医学は長崎から 医学ゼミ 動物性機能系 リサーチセミナー	1前・後 1前 1～4通 2後 3後	0.15 0.04 1.00 1.01 9.00	38.75	人間生物学 医学は長崎から 医学ゼミ 動物性機能系 リサーチセミナー	1前・後 1前 1～4通 2後 3後	0.15 0.04 1.00 1.01 9.00	38.75
6	教授	イトウ 敬		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年9月1日)	人間生物学 医学ゼミ 生物化学 生物・化学実習 生体分子系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 1後 1後 2前 3後	0.07 2.00 0.13 1.23 2.13 9.00	38.75	人間生物学 医学ゼミ 生物化学 生物・化学実習 生体分子系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 1後 1後 2前 3後	0.07 2.00 0.13 1.23 2.13 9.00	38.75
7	教授	ニワ 正美		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	人間生物学 医学ゼミ 薬理系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 3前 3後	0.07 1.00 1.22 9.00	38.75	人間生物学 医学ゼミ 薬理系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 3前 3後	0.07 1.00 1.22 9.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
8	教授	シモカワ 下川 功		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	医学ゼミ 病理総論系 病理各論系 分子病態系 リサーチセミナー 臨床実習	1～4通 3前 3前・後 3前 3後 5前・後	1.00 0.08 0.67 0.07 9.00 0.88	38.75	医学ゼミ 病理総論系 病理各論系 分子病態系 リサーチセミナー 臨床実習	1～4通 3前 3前・後 3前 3後 5前・後	1.00 0.08 0.67 0.07 9.00 0.88	38.75
9	教授	タグチ 田口 尚		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	医学は長崎から 病理総論系 病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	1前 3前 3前・後 3後 5前・後	0.04 0.60 0.67 9.00 0.88	38.75	医学は長崎から 病理総論系 病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	1前 3前 3前・後 3後 5前・後	0.04 0.60 0.67 9.00 0.88	38.75
10	教授	アオヤギ 青柳 潔		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年11月16日)	人間生物学 医学ゼミ リサーチセミナー 社会医学 臨床実習	1前・後 1～4通 3後 4前・後 5前・後	0.15 1.00 9.00 1.08 3.15	38.75	人間生物学 医学ゼミ リサーチセミナー 社会医学 臨床実習	1前・後 1～4通 3後 4前・後 5前・後	0.15 1.00 9.00 1.08 3.15	38.75
11	教授	ユイ 由井 克之		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	人間生物学 医学ゼミ 免疫系 分子病態系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 3前 3前 3後	0.30 1.00 0.93 0.07 9.00	38.75	人間生物学 医学ゼミ 免疫系 分子病態系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 3前 3前 3後	0.30 1.00 0.93 0.07 9.00	38.75
12	教授	ナカゾノ 中園 一郎		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	医と社会 医学ゼミ リサーチセミナー 法医学系 高次臨床実習 アドバンスリサーチセミナー	1～4通 1～4通 3後 4後 6前 4～6通	2.36 1.00 9.00 0.68 2.00 0.67	38.75	医と社会 医学ゼミ リサーチセミナー 法医学系 高次臨床実習 アドバンスリサーチセミナー	1～4通 1～4通 3後 4後 6前 4～6通	2.36 1.00 9.00 0.68 2.00 0.67	38.75
13	教授	マツヤマ 松山 俊文		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	分子遺伝系 免疫系 腫瘍系 リサーチセミナー	2前 3前 3前 3後	0.13 0.13 0.47 9.00	38.75	分子遺伝系 免疫系 腫瘍系 リサーチセミナー	2前 3前 3前 3後	0.13 0.13 0.47 9.00	38.75
14	教授	ニシダ 西田 教行		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年7月1日)	人間生物学 医学ゼミ 感染系 分子病態系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 3前 3前 3後	0.07 1.00 0.92 0.07 9.00	38.75	人間生物学 医学ゼミ 感染系 分子病態系 リサーチセミナー	1前・後 1～4通 3前 3前 3後	0.07 1.00 0.92 0.07 9.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
15	教授	ナカゴミ 中込 治		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年5月1日)	感染系 リサーチセミナー 社会医学	3前 3後 4前・後	0.31 9.00 0.10	38.75	感染系 リサーチセミナー 社会医学	3前 3後 4前・後	0.31 9.00 0.10	38.75
16	教授	ナカシマ 中島 正洋		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成22年3月1日)	人間生物学 原爆医学概論 病理総論系 病理各論系 リサーチセミナー 消化器系 臨床実習	1前・後 1前 3前 3前・後 3後 4前 5前・後	0.22 0.10 0.15 1.23 9.00 0.06 1.17	38.75	人間生物学 原爆医学概論 病理総論系 病理各論系 リサーチセミナー 消化器系 臨床実習	1前・後 1前 3前 3前・後 3後 4前 5前・後	0.22 0.10 0.15 1.23 9.00 0.06 1.17	38.75
17	教授	クドウ 工藤 崇		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成22年1月1日)	環境因子系 リサーチセミナー 診断学 放射線医学	3前 3後 4後 4後	0.41 9.00 0.07 0.13	38.75	環境因子系 リサーチセミナー 診断学 放射線医学	3前 3後 4後 4後	0.41 9.00 0.07 0.13	38.75
18	教授	タカムラ 高村 昇		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成20年4月1日)	医学統計学 リサーチセミナー 社会医学	1後 3後 4前・後	0.07 9.00 0.20	38.75	医学統計学 リサーチセミナー 社会医学	1後 3後 4前・後	0.07 9.00 0.20	38.75
19	教授	ヨシウラ 吉浦 孝一郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成20年4月1日)	人間生物学 細胞生物学 分子遺伝系 分子病態系 リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー	1前・後 1前 2前 3前 3後 4～6通	0.15 0.13 0.53 0.07 9.00 0.13	38.75	人間生物学 細胞生物学 分子遺伝系 分子病態系 リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー	1前・後 1前 2前 3前 3後 4～6通	0.15 0.13 0.53 0.07 9.00 0.13	38.75
20	教授	ヤマシタ 山下 俊一		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	原爆医学概論 医学ゼミ 内臓機能・体液系 リサーチセミナー	1前 1～4通 2前・後 3後	0.15 1.00 0.18 9.00	38.75	原爆医学概論 医学ゼミ 内臓機能・体液系 リサーチセミナー	1前 1～4通 2前・後 3後	0.15 1.00 0.18 9.00	38.75
21	教授	ミヤザキ 宮崎 泰司		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年9月1日)	血液・リンパ系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.48 0.07 21.00 6.00	38.75	血液・リンパ系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.48 0.07 21.00 6.00	38.75
22	教授	ナガヤマ 永山 雄二		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成16年1月1日)	細胞生物学 分子遺伝系 内臓機能・体液系 分子病態系 リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー	1前 2前 2前・後 3前 3後 4～6通	0.53 0.07 0.30 0.07 9.00 2.00	38.75	細胞生物学 分子遺伝系 内臓機能・体液系 分子病態系 リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー	1前 2前 2前・後 3前 3後 4～6通	0.53 0.07 0.30 0.07 9.00 2.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数		
						科目の名称	配当 年次		担当 単位数	科目の名称		配当 年次	担当 単位数
23	教授	ナカオ カズヒコ 中尾 一彦		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年3月1日)	医学ゼミ 腫瘍系 消化器系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3前 4前 4後 5前・後 6前	1.00 0.07 0.17 0.07 7.00 3.00	38.75	医学ゼミ 腫瘍系 消化器系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3前 4前 4後 5前・後 6前	1.00 0.07 0.17 0.07 7.00 3.00	38.75
24	教授	マエムラ ヨウジ 前村 浩二		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成20年7月16日)	人間生物学 医学ゼミ 循環器系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 1～4通 3後 5前・後 6前	0.15 1.00 0.14 14.00 6.00	38.75	人間生物学 医学ゼミ 循環器系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 1～4通 3後 5前・後 6前	0.15 1.00 0.14 14.00 6.00	38.75
25	教授	オザワ ヒロキ 小澤 寛樹		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年10月1日)	医学ゼミ 薬理系 脳・神経系 精神系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3前 4前 4後 5前・後 6前	2.00 0.06 0.07 0.48 14.00 6.00	38.75	医学ゼミ 薬理系 脳・神経系 精神系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3前 4前 4後 5前・後 6前	2.00 0.06 0.07 0.48 14.00 6.00	38.75
26	教授	モリウチ ヒロユキ 森内 浩幸		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	免疫系 腎泌尿器系 小児系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	3前 4前 4後 4後 5前・後 6前	0.07 0.12 0.30 0.38 10.50 4.50	38.75	免疫系 腎泌尿器系 小児系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	3前 4前 4後 4後 5前・後 6前	0.07 0.12 0.30 0.38 10.50 4.50	38.75
27	教授	ナガヤス タケン 永安 武		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年7月16日)	呼吸器系 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.21 0.13 10.50 4.50	38.75	呼吸器系 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.21 0.13 10.50 4.50	38.75
28	教授	ウタニ アツシ 宇谷 厚志		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成22年3月1日)	皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.60 10.50 4.50	38.75	皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.60 10.50 4.50	38.75
29	教授	サカイ ヒデキ 酒井 英樹		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成21年7月1日)	人間生物学 腎泌尿器系 生殖系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 4前 4前 5前・後 6前	0.22 0.17 0.12 14.00 4.00	38.75	人間生物学 腎泌尿器系 生殖系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 4前 4前 5前・後 6前	0.22 0.17 0.12 14.00 4.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数		
						科目の名称	配当 年次		担当 単位数	科目の名称		配当 年次	担当 単位数
30	教授	キタオカ 隆 北岡 隆		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年9月1日)	神経・感覚器系 動物性機能系 視覚系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	2後 2後 4前 4後 5前・後 6前	0.06 0.06 0.18 0.07 14.00 4.00	38.75	神経・感覚器系 動物性機能系 視覚系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	2後 2後 4前 4後 5前・後 6前	0.06 0.06 0.18 0.07 14.00 4.00	38.75
31	教授	タカハシ ハルオ 高橋 晴雄		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年6月1日)	神経・感覚器系 動物性機能系 耳鼻咽喉口腔系 臨床実習 高次臨床実習	2後 2後 4前 5前・後 6前	0.06 0.06 0.20 14.00 6.00	38.75	神経・感覚器系 動物性機能系 耳鼻咽喉口腔系 臨床実習 高次臨床実習	2後 2後 4前 5前・後 6前	0.06 0.06 0.20 14.00 6.00	38.75
32	教授	ウエタニ マサタカ 上谷 雅孝		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成16年6月1日)	神経・感覚器系 診断学 放射線医学 臨床実習 高次臨床実習	2後 4後 4後 5前・後 6前	0.06 0.07 0.13 10.50 4.50	38.75	神経・感覚器系 診断学 放射線医学 臨床実習 高次臨床実習	2後 4後 4後 5前・後 6前	0.06 0.07 0.13 10.50 4.50	38.75
33	教授	マサザキ ヒデアキ 増崎 英明		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成18年8月1日)	医学ゼミ 生殖系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4前 5前・後 6前	1.00 0.06 10.50 4.50	38.75	医学ゼミ 生殖系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4前 5前・後 6前	1.00 0.06 10.50 4.50	38.75
34	教授	スミカワ コウジ 澄川 耕二		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.27 10.50 4.50	38.75	外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.27 10.50 4.50	38.75
35	教授	ナガタ イズミ 永田 泉		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年4月1日)	神経・感覚器系 臨床実習 高次臨床実習	2後 5前・後 6前	0.06 14.00 6.00	38.75	神経・感覚器系 臨床実習 高次臨床実習	2後 5前・後 6前	0.06 14.00 6.00	38.75
36	教授	ヒラノ アキヨシ 平野 明喜		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成15年10月1日)	運動系 皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4後 5前・後 6前	0.06 0.08 21.00 9.00	38.75	運動系 皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4後 5前・後 6前	0.06 0.08 21.00 9.00	38.75
37	教授	エイシ キョウキ 江石 清行		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	循環器系 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.21 0.07 21.00 6.00	38.75	循環器系 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.21 0.07 21.00 6.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
38	教授	カミヒラ シメル 上平 憲		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	生物・化学実習 診断学 臨床検査医学 臨床実習	1後 4後 4後 5前・後	0.62 0.07 0.20 14.00	38.75	生物・化学実習 診断学 臨床検査医学 臨床実習	1後 4後 4後 5前・後	0.62 0.07 0.20 14.00	38.75
39	教授	オオソノ ヨシユキ 大園 惠幸		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 (平成14年4月1日)	医と社会 医学ゼミ 診断学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 1～4通 4後 5前・後 6前	0.39 1.00 0.07 9.46 9.00	38.75	医と社会 医学ゼミ 診断学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 1～4通 4後 5前・後 6前	0.39 1.00 0.07 9.46 9.00	38.75
40	准教授	オカモト ケイシ 岡本 圭史		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成16年9月1日)	人体構造系 リサーチセミナー	1後・2前 3後	4.85 9.00	38.75	人体構造系 リサーチセミナー	1後・2前 3後	4.85 9.00	38.75
41	准教授	ヒシカワ ヨシタカ 菱川 善隆		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成17年3月1日)	人間生物学 生物・化学実習 発生・組織系 リサーチセミナー	1前・後 1後 2後 3後	0.52 0.62 1.76 9.00	38.75	人間生物学 生物・化学実習 発生・組織系 リサーチセミナー	1前・後 1後 2後 3後	0.52 0.62 1.76 9.00	38.75
42	准教授	マツモト イツロウ 松本 逸郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成17年6月1日)	人間生物学 医学ゼミ 内臓機能・体液系 呼吸器系 リサーチセミナー 腎泌尿器系 アドバンスリサーチセミナー	1前・後 1～4通 2前・後 3後 3後 4前 4～6通	0.07 1.00 1.51 0.07 9.00 0.06 0.27	38.75	人間生物学 医学ゼミ 内臓機能・体液系 呼吸器系 リサーチセミナー 腎泌尿器系 アドバンスリサーチセミナー	1前・後 1～4通 2前・後 3後 3後 4前 4～6通	0.07 1.00 1.51 0.07 9.00 0.06 0.27	38.75
43	准教授	タナカ クニヒコ 田中 邦彦		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年1月1日)	薬理系 分子病態系 腫瘍系 リサーチセミナー	3前 3前 3前 3後	1.11 0.07 0.07 9.00	38.75	薬理系 分子病態系 腫瘍系 リサーチセミナー	3前 3前 3前 3後	1.11 0.07 0.07 9.00	38.75
44	准教授	チバ タクヤ 千葉 卓哉		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年1月1日)	病理総論系 病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前 3前・後 3後 5前・後	0.60 0.31 9.00 0.88	38.75	病理総論系 病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前 3前・後 3後 5前・後	0.60 0.31 9.00 0.88	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
45	准教授	ナカヤマ トシユキ 中山 敏幸		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年3月1日)	病理総論系 リサーチセミナー 消化器系 臨床実習	3前 3後 4前 5前・後	0.15 9.00 0.11 0.88	38.75	病理総論系 リサーチセミナー 消化器系 臨床実習	3前 3後 4前 5前・後	0.15 9.00 0.11 0.88	38.75
46	准教授	ホンダ スミヒサ 本田 純久		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年4月1日)	医学統計学 リサーチセミナー 社会医学 臨床実習	1後 3後 4前・後 5前・後	0.67 9.00 0.69 3.15	38.75	医学統計学 リサーチセミナー 社会医学 臨床実習	1後 3後 4前・後 5前・後	0.67 9.00 0.69 3.15	38.75
47	准教授	イケマツ カズヤ 池松 和哉		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成16年9月1日)	生物・化学実習 リサーチセミナー 法医学系 高次臨床実習 アドバンストリサーチセミナー	1後 3後 4後 6前 4~6通	0.92 9.00 0.34 2.00 1.60	38.75	生物・化学実習 リサーチセミナー 法医学系 高次臨床実習 アドバンストリサーチセミナー	1後 3後 4後 6前 4~6通	0.92 9.00 0.34 2.00 1.60	38.75
48	准教授	ハヤシ ヒデキ 林 日出喜		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年4月1日)	医学ゼミ 腫瘍系 リサーチセミナー	1~4通 3前 3後	1.00 0.07 9.00	38.75	医学ゼミ 腫瘍系 リサーチセミナー	1~4通 3前 3後	1.00 0.07 9.00	38.75
49	准教授	ナカゴミ トヨコ 中込 とよ子		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成17年5月1日)	感染系 リサーチセミナー	3前 3後	0.06 9.00	38.75	感染系 リサーチセミナー	3前 3後	0.06 9.00	38.75
50	准教授	オカイチ クミオ 岡市 協生		理学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成14年4月1日)	環境因子系 腫瘍系 リサーチセミナー	3前 3前 3後	0.50 0.07 9.00	38.75	環境因子系 腫瘍系 リサーチセミナー	3前 3前 3後	0.50 0.07 9.00	38.75
51	准教授	スズキ ケイジ 鈴木 啓司		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成16年4月1日)	環境因子系 リサーチセミナー	3前 3後	0.09 9.00	38.75	環境因子系 リサーチセミナー	3前 3後	0.09 9.00	38.75
52	准教授	ツカサキ クニヒロ 塚崎 邦弘		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成16年1月1日)	人間生物学 原爆医学概論 生物・化学実習 分子病態系 血液・リンパ系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 1前 1後 3前 3後 4後 5前・後 6前	0.15 0.05 0.62 0.07 0.20 0.08 21.00 6.00	38.75	人間生物学 原爆医学概論 生物・化学実習 分子病態系 血液・リンパ系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 1前 1後 3前 3後 4後 5前・後 6前	0.15 0.05 0.62 0.07 0.20 0.08 21.00 6.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
53	准教授	ミネ マリコ 三根 真理子		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成14年4月1日)	原爆医学概論 医学は長崎から 医学統計学 環境因子系 リサーチセミナー	1前 1前 1後 3前 3後	0.05 0.04 0.40 0.41 9.00	38.75	原爆医学概論 医学は長崎から 医学統計学 環境因子系 リサーチセミナー	1前 1前 1後 3前 3後	0.05 0.04 0.40 0.41 9.00	38.75
54	准教授	カワカミ アツシ 川上 純		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年4月1日)	免疫系 免疫・アレルギー疾患系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	3前 4前 4後 5前・後 6前	0.07 0.27 0.07 8.40 3.60	38.75	免疫系 免疫・アレルギー疾患系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	3前 4前 4後 5前・後 6前	0.07 0.27 0.07 8.40 3.60	38.75
55	准教授	ナカムラ タツフミ 中村 龍文		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成14年4月1日)	脳・神経系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.26 8.40 3.60	38.75	脳・神経系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.26 8.40 3.60	38.75
56	准教授	マツセ ヒロト 松瀬 厚人		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年6月2日)	医学ゼミ 分子病態系 呼吸器系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3前 3後 5前・後 6前	1.00 0.07 0.14 7.00 3.00	38.75	医学ゼミ 分子病態系 呼吸器系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3前 3後 5前・後 6前	1.00 0.07 0.14 7.00 3.00	38.75
57	准教授	フルス アキラ 古巣 朗		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年4月1日)	腎泌尿器系 免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4前 5前・後 6前	0.35 0.07 7.00 3.00	38.75	腎泌尿器系 免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4前 5前・後 6前	0.35 0.07 7.00 3.00	38.75
58	准教授	タケシマ フミナオ 竹島 史直		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成16年11月1日)	医学ゼミ 消化器系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4前 5前・後 6前	1.00 0.28 7.00 3.00	38.75	医学ゼミ 消化器系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4前 5前・後 6前	1.00 0.28 7.00 3.00	38.75
59	准教授	アサザワ ナオト 芦澤 直人		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年5月1日)	循環器系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.21 0.98 14.00 6.00	38.75	循環器系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.21 0.98 14.00 6.00	38.75
60	准教授	イマムラ アキラ 今村 明		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年8月1日)	脳・神経系 社会医学 精神系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4前・後 4後 5前・後 6前	0.07 0.20 0.27 14.00 6.00	38.75	脳・神経系 社会医学 精神系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4前・後 4後 5前・後 6前	0.07 0.20 0.27 14.00 6.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数		科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	
61	准教授	サワイ テルミツ 澤井 照光		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成20年9月1日)	外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.13 10.50 4.50	38.75	外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.13 10.50 4.50	38.75
62	准教授	ヤスタク トオル 安武 亨		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成17年3月1日)	医学ゼミ 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4後 5前・後 6前	3.00 0.07 10.50 4.50	38.75	医学ゼミ 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4後 5前・後 6前	3.00 0.07 10.50 4.50	38.75
63	准教授	エグチ ススム 江口 晋		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年10月1日)	医と社会 医学ゼミ 診断学 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 1～4通 4後 4後 5前・後 6前	0.06 1.00 0.07 0.07 10.50 4.50	38.75	医と社会 医学ゼミ 診断学 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 1～4通 4後 4後 5前・後 6前	0.06 1.00 0.07 0.07 10.50 4.50	38.75
64	准教授	オザキ マコト 尾崎 誠		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成22年8月1日)	運動系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75	運動系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75
65	准教授	シミズ カズヒロ 清水 和宏		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成15年4月1日)	皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.08 10.50 4.50	38.75	皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.08 10.50 4.50	38.75
66	准教授	イガワ ツカサ 井川 掌		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成21年10月1日)	医学ゼミ 腎泌尿器系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4前 5前・後 6前	1.00 0.40 14.00 4.00	38.75	医学ゼミ 腎泌尿器系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 4前 5前・後 6前	1.00 0.40 14.00 4.00	38.75
67	准教授	スズマ キヨシ 鈴間 潔		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成22年5月1日)	視覚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.14 14.00 4.00	38.75	視覚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.14 14.00 4.00	38.75
68	准教授	クマガミ ヒデタカ 隈上 秀高		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成17年1月1日)	動物性機能系 耳鼻咽喉口腔系 臨床実習 高次臨床実習	2後 4前 5前・後 6前	0.06 0.14 14.00 6.00	38.75	動物性機能系 耳鼻咽喉口腔系 臨床実習 高次臨床実習	2後 4前 5前・後 6前	0.06 0.14 14.00 6.00	38.75
69	准教授	イノモト イチロウ 磯本 一郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成16年9月1日)	放射線医学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75	放射線医学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当 年次	担当 単位数		科目の名称	配当 年次	担当 単位数	
70	准教授	マキタ テツジ 榎田 徹次		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成19年3月1日)	外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.13 10.50 4.50	38.75	外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.13 10.50 4.50	38.75
71	准教授	スヤマ カズヒコ 陶山 一彦		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成20年11月1日)	脳・神経系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.13 14.00 6.00	38.75	脳・神経系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.13 14.00 6.00	38.75
72	准教授	タナカ カツミ 田中 克己		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成15年12月1日)	運動系 皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4後 5前・後 6前	0.06 0.08 21.00 9.00	38.75	運動系 皮膚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 4後 5前・後 6前	0.06 0.08 21.00 9.00	38.75
73	准教授	ヤマダ ヤスアキ 山田 恭暉		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授 (平成14年4月1日)	腫瘍系 診断学 臨床検査医学 臨床実習	3前 4後 4後 5前・後	0.07 0.07 0.27 14.00	38.75	腫瘍系 診断学 臨床検査医学 臨床実習	3前 4後 4後 5前・後	0.07 0.07 0.27 14.00	38.75
74	講師	オオヤマ キョウジ 大山 恭司		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成22年6月1日)	神経・感覚器系 リサーチセミナー	2後 3後	0.50 9.00	38.75	神経・感覚器系 リサーチセミナー	2後 3後	0.50 9.00	38.75
75	講師	ワケベ テツアキ 分部 哲秋		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成14年4月1日)	人体構造系 リサーチセミナー	1後・2前 3後	4.61 9.00	38.75	人体構造系 リサーチセミナー	1後・2前 3後	4.61 9.00	38.75
76	講師	ヤマシタ ヤスコ 山下 康子		薬学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成14年4月1日)	生物・化学実習 薬理系 リサーチセミナー	1後 3前 3後	0.62 0.72 9.00	38.75	生物・化学実習 薬理系 リサーチセミナー	1後 3前 3後	0.62 0.72 9.00	38.75
77	講師	アベ クニコ 安倍 邦子		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成20年4月1日)	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.08 9.00 0.88	38.75	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.08 9.00 0.88	38.75
78	講師	アベ ヤスヨ 安部 恵代		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成21年4月1日)	リサーチセミナー 社会医学 臨床実習	3後 4前・後 5前・後	9.00 0.69 3.15	38.75	リサーチセミナー 社会医学 臨床実習	3後 4前・後 5前・後	9.00 0.69 3.15	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当年次	担当単位数		科目の名称	配当年次	担当単位数	
79	講師	ホンマ キリ 本間 季里		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成18年1月1日)	生物・化学実習 免疫系 リサーチセミナー	1後 3前 3後	0.92 0.20 9.00	38.75	生物・化学実習 免疫系 リサーチセミナー	1後 3前 3後	0.92 0.20 9.00	38.75
80	講師	サウワ カンヤ 佐藤 克也		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成21年10月1日)	医学ゼミ 感染系 リサーチセミナー 社会医学	1～4通 3前 3後 4前・後	1.00 0.18 9.00 0.20	38.75	医学ゼミ 感染系 リサーチセミナー 社会医学	1～4通 3前 3後 4前・後	1.00 0.18 9.00 0.20	38.75
81	講師	モトムラ マサカツ 本村 政勝		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成15年1月1日)	脳・神経系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	4前 4後 5前・後 6前	0.20 0.98 8.40 3.60	38.75	脳・神経系 診断学 臨床実習 高次臨床実習	4前 4後 5前・後 6前	0.20 0.98 8.40 3.60	38.75
82	講師	カケヤ ヒロシ 掛屋 弘		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成20年6月2日)	感染症系 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.08 7.00 3.00	38.75	感染症系 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.08 7.00 3.00	38.75
83	講師	イケダ サトシ 池田 聡司		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成19年4月1日)	分子病態系 循環器系 臨床実習 高次臨床実習	3前 3後 5前・後 6前	0.07 0.14 14.00 6.00	38.75	分子病態系 循環器系 臨床実習 高次臨床実習	3前 3後 5前・後 6前	0.07 0.14 14.00 6.00	38.75
84	講師	クロタキ ナオヒロ 黒滝 直弘		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成19年3月1日)	分子遺伝系 精神系 臨床実習 高次臨床実習	2前 4後 5前・後 6前	0.13 0.14 14.00 6.00	38.75	分子遺伝系 精神系 臨床実習 高次臨床実習	2前 4後 5前・後 6前	0.13 0.14 14.00 6.00	38.75
85	講師	オカダ マサヒコ 岡田 雅彦		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成18年4月1日)	医学ゼミ 血液・リンパ系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3後 5前・後 6前	1.00 0.27 10.50 4.50	38.75	医学ゼミ 血液・リンパ系 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 3後 5前・後 6前	1.00 0.27 10.50 4.50	38.75
86	講師	ツチヤ トモシ 土谷 智史		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成22年4月1日)	呼吸器系 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.07 0.07 10.50 4.50	38.75	呼吸器系 外科治療学 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.07 0.07 10.50 4.50	38.75
87	講師	クロキ タモツ 黒木 保		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師 (平成22年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 1.38	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 1.38	38.75
88	助教	ヤスタ クニヒコ 安田 邦彦		博士(理学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	神経・感覚器系 リサーチセミナー	2後 3後	0.50 9.00	38.75	神経・感覚器系 リサーチセミナー	2後 3後	0.50 9.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数		科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	
89	助教	サイキ カズノブ 佐伯 和信		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	人体構造系 リサーチセミナー	1後・2前 3後	4.49 9.00	38.75	人体構造系 リサーチセミナー	1後・2前 3後	4.49 9.00	38.75
90	助教	サウ ヨウコ 佐藤 陽子		博士(理学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	発生・組織系 リサーチセミナー	2後 3後	1.70 9.00	38.75	発生・組織系 リサーチセミナー	2後 3後	1.70 9.00	38.75
91	助教	ニシノ トモヤ 西野 友哉		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年8月16日)	人間生物学 発生・組織系 リサーチセミナー 腎泌尿器系	1前・後 2後 3後 4前	0.52 1.76 9.00 0.12	38.75	人間生物学 発生・組織系 リサーチセミナー 腎泌尿器系	1前・後 2後 3後 4前	0.52 1.76 9.00 0.12	38.75
92	助教	シマダ トシオ 嶋田 敏生		理学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	内臓機能・体液系 リサーチセミナー	2前・後 3後	0.97 9.00	38.75	内臓機能・体液系 リサーチセミナー	2前・後 3後	0.97 9.00	38.75
93	助教	ドイ ヒロカズ 土居 裕和		博士(学術)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	人間生物学 動物性機能系 リサーチセミナー	1前・後 2後 3後	0.07 0.95 9.00	38.75	人間生物学 動物性機能系 リサーチセミナー	1前・後 2後 3後	0.07 0.95 9.00	38.75
94	助教	ニシタニ ショウタ 西谷 正太		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	人間生物学 動物性機能系 リサーチセミナー	1前・後 2後 3後	0.07 0.95 9.00	38.75	人間生物学 動物性機能系 リサーチセミナー	1前・後 2後 3後	0.07 0.95 9.00	38.75
95	助教	キダ テツオ 木田 哲夫		博士(学術)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	動物性機能系 リサーチセミナー	2後 3後	0.83 9.00	38.75	動物性機能系 リサーチセミナー	2後 3後	0.83 9.00	38.75
96	助教	ナカガワ タケヤ 中川 武弥			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	生物・化学実習 リサーチセミナー	1後 3後	1.23 9.00	38.75	生物・化学実習 リサーチセミナー	1後 3後	1.23 9.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数		科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	
97	助教	ナカミ カツミ 中富 克己		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年8月1日)	医と社会 人間生物学 リサーチセミナー	1~4通 1前・後 3後	1.12 0.07 9.00	38.75	医と社会 人間生物学 リサーチセミナー	1~4通 1前・後 3後	1.12 0.07 9.00	38.75
98	助教	タツミ リエ 巽 理恵		博士(学術)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75
99	助教	ハヤシ ヒロコ 林 洋子		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成20年4月1日)	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	0.31 9.00 0.88	38.75	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	0.31 9.00 0.88	38.75
100	助教	モリ リウイチ 森 亮一		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年4月1日)	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	0.31 9.00 0.88	38.75	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	0.31 9.00 0.88	38.75
101	助教	アリファ・ナズニーン		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.08 9.00 0.88	38.75	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.08 9.00 0.88	38.75
102	助教	ミヤタ クリアキ 宮田 倫明		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年6月2日)	リサーチセミナー 臨床実習	3後 5前・後	9.00 3.15	38.75	リサーチセミナー 臨床実習	3後 5前・後	9.00 3.15	38.75
103	助教	ミヤコダ マナ 都田 真奈		博士(薬学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	免疫系 リサーチセミナー	3前 3後	0.13 9.00	38.75	免疫系 リサーチセミナー	3前 3後	0.13 9.00	38.75
104	助教	キムラ ダイスケ 木村 大輔		博士(保健学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年9月1日)	免疫系 リサーチセミナー	3前 3後	0.13 9.00	38.75	免疫系 リサーチセミナー	3前 3後	0.13 9.00	38.75
105	助教	アベ シュンタロウ 阿部 俊太郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年4月1日)	リサーチセミナー 法医学系 高次臨床実習	3後 4後 6前	9.00 0.14 2.00	38.75	リサーチセミナー 法医学系 高次臨床実習	3後 4後 6前	9.00 0.14 2.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数		科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	
106	助教	ヤスイ キヨシ 安井 潔		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75
107	助教	イシバシ ダイスケ 石橋 大輔		博士(薬学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	感染系 リサーチセミナー	3前 3後	0.06 9.00	38.75	感染系 リサーチセミナー	3前 3後	0.06 9.00	38.75
108	助教	マツハラ タケヒロ 松原 岳大		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75
109	助教	ヤマモト カズコ 山本 和子		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年3月1日)	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75
110	助教	シチジョウ カズコ 七條 和子		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.23 9.00 1.17	38.75	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.23 9.00 1.17	38.75
111	助教	ヒラカフ ヒロシ 平川 宏		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.23 9.00 1.17	38.75	病理各論系 リサーチセミナー 臨床実習	3前・後 3後 5前・後	1.23 9.00 1.17	38.75
112	助教	イハラ マコト 井原 誠		理学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	環境因子系 リサーチセミナー	3前 3後	0.41 9.00	38.75	環境因子系 リサーチセミナー	3前 3後	0.41 9.00	38.75
113	助教	ウラタ ヨシシゲ 浦田 芳重		医学博士	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	生物化学 生体分子系 リサーチセミナー	1後 2前 3後	0.13 0.06 9.00	38.75	生物化学 生体分子系 リサーチセミナー	1後 2前 3後	0.13 0.06 9.00	38.75
114	助教	コウ シンジ 後藤 信治		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	生物化学 生体分子系 リサーチセミナー	1後 2前 3後	0.07 0.06 9.00	38.75	生物化学 生体分子系 リサーチセミナー	1後 2前 3後	0.07 0.06 9.00	38.75
115	助教	ハヤシダ ナオミ 林田 直美		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成20年8月1日)	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数		科目の名称	配 年 次	担 当 単 位 数	
116	助教	キノシタ アキラ 木下 晃		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	分子遺伝系 リサーチセミナー	2前 3後	0.13 9.00	38.75	分子遺伝系 リサーチセミナー	2前 3後	0.13 9.00	38.75
117	助教	ミツタケ リサト 光武 範吏		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	細胞生物学 リサーチセミナー	1前 3後	0.13 9.00	38.75	細胞生物学 リサーチセミナー	1前 3後	0.13 9.00	38.75
118	助教	タガチ ジュン 田口 潤		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年4月1日)	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75
119	助教	アヤマ カズヒコ 有馬 和彦		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年9月1日)	分子病態系 リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー	3前 3後 4~6通	0.07 9.00 2.00	38.75	分子病態系 リサーチセミナー アドバンストリサーチセミナー	3前 3後 4~6通	0.07 9.00 2.00	38.75
120	助教	サエンコ ウラジミール アレクサンドロビ チ		Ph.D	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75	リサーチセミナー	3後	9.00	38.75
121	助教	コンドウ ヒサヨシ 近藤 久義		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	環境因子系 リサーチセミナー	3前 3後	0.41 9.00	38.75	環境因子系 リサーチセミナー	3前 3後	0.41 9.00	38.75
122	助教	ミウラ シロウ 三浦 史郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	病理各論系 リサーチセミナー	3前・後 3後	0.92 9.00	38.75	病理各論系 リサーチセミナー	3前・後 3後	0.92 9.00	38.75
123	助教	ナカムラ ヒデキ 中村 英樹		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.13 8.40 3.60	38.75	免疫・アレルギー疾患系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.13 8.40 3.60	38.75
124	助教	ヤマサキ サトシ 山崎 聡士		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	8.40 3.60	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	8.40 3.60	38.75
125	助教	イズミカワ コウイチ 泉川 公一		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	呼吸器系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.07 0.08 7.00 3.00	38.75	呼吸器系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.07 0.08 7.00 3.00	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数		
						科目の名称	配当 年次		担当 単位数	科目の名称		配当 年次	担当 単位数
126	助教	セキ 関 マサフミ 雅文		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	呼吸器系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.07 0.15 7.00 3.00	38.75	呼吸器系 感染症系 臨床実習 高次臨床実習	3後 4後 5前・後 6前	0.07 0.15 7.00 3.00	38.75
127	助教	ナカムラ ヨウイチ 中村 洋一		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年6月2日)	呼吸器系 臨床実習 高次臨床実習	3後 5前・後 6前	0.14 7.00 3.00	38.75	呼吸器系 臨床実習 高次臨床実習	3後 5前・後 6前	0.14 7.00 3.00	38.75
128	助教	イチカワ タツキ 市川 辰樹		博士(医学)	長崎大学病院 助教 (平成21年4月1日)	医学ゼミ 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 5前・後 6前	2.00 7.00 3.00	38.75	医学ゼミ 臨床実習 高次臨床実習	1～4通 5前・後 6前	2.00 7.00 3.00	38.75
129	助教	オオニタ ケン 大仁田 賢		博士(医学)	長崎大学病院 助教 (平成21年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	7.00 3.00	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	7.00 3.00	38.75
130	助教	クニバ ヒデオ 國場 英雄		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年8月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75
131	助教	モリウチ マサコ 森内 昌子		Ph.D	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75
132	助教	ヒダカ マサキ 日高 匡章		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75
133	助教	ババ ヒデオ 馬場 秀夫		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	運動系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.11 10.50 4.50	38.75	運動系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.11 10.50 4.50	38.75
134	助教	フルカワ ケイゾウ 古川 敬三		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成20年6月2日)	運動系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.11 10.50 4.50	38.75	運動系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.11 10.50 4.50	38.75
135	助教	ハラ トシヒデ 原 肇秀		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年6月2日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度				学則変更前年度			
						担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目			申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数
						科目の名称	配当年次	担当単位数		科目の名称	配当年次	担当単位数	
136	助教	アキヤマ ヌウイチロウ 稲山 雄一郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年9月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75
137	助教	モチヅキ ヤスシ 望月 保志		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	14.00 4.00	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	14.00 4.00	38.75
138	助教	フジカワ アツサ 藤川 亜月茶		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	視覚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.14 14.00 4.00	38.75	視覚系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.14 14.00 4.00	38.75
139	助教	フクダ トモミ 福田 智美		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年10月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	14.00 6.00	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	14.00 6.00	38.75
140	助教	スエヨシ エイジュン 末吉 英純		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75
141	助教	ハヤシ ヒデユキ 林 秀行		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成20年10月1日)	放射線医学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75	放射線医学 臨床実習 高次臨床実習	4後 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75
142	助教	カーン・カレク・ネワズ		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	生殖系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75	生殖系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75
143	助教	ヤマサキ ケンタロウ 山崎 健太郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年6月2日)	生殖系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75	生殖系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.06 10.50 4.50	38.75
144	助教	ミウラ ショウゴ 三浦 生子		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年8月1日)	人間生物学 生殖系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 4前 5前・後 6前	0.15 0.06 10.50 4.50	38.75	人間生物学 生殖系 臨床実習 高次臨床実習	1前・後 4前 5前・後 6前	0.15 0.06 10.50 4.50	38.75
145	助教	ホウジョウ ミノル 北條 美能留			長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75

専任教員の氏名等

(長崎大学医学部医学科)

番号	職位	フリガナ 氏名	年齢	保有学位等	現職 (就任年月)	学則変更年度			学則変更前年度				
						担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数	担当授業科目		申請に係る大学に おける教育研究に 従事する週当たり 平均時間数		
						科目の名称	配当年次		担当単位数	科目の名称		配当年次	担当単位数
146	助教	サカイ テツヤ 境 徹也		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	10.50 4.50	38.75
147	助教	ウシジマ リュウジロウ 牛島 隆二郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	脳・神経系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.20 14.00 6.00	38.75	脳・神経系 臨床実習 高次臨床実習	4前 5前・後 6前	0.20 14.00 6.00	38.75
148	助教	アリヨシ ツネオ 有吉 毅子男		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成21年1月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	21.00 6.00	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	21.00 6.00	38.75
149	助教	ハセガワ ヒロオ 長谷川 寛雄		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成19年4月1日)	臨床検査医学 臨床実習	4後 5前・後	0.13 14.00	38.75	臨床検査医学 臨床実習	4後 5前・後	0.13 14.00	38.75
150	助教	カダマ コウイチロウ 門田 耕一郎		博士(医学)	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 助教 (平成22年10月1日)	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	9.46 9.00	38.75	臨床実習 高次臨床実習	5前・後 6前	9.46 9.00	38.75